

開設科目名	カトリックの愛の精神Ⅱ	科目コード	BSNBG201	開設期	2年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	井手信	担当者	井手信、寺浜亮司		
授業の概要（授業の目的）					
本科目では、人間の尊厳の尊重を基盤としたケアの実践を目的として、保健医療福祉における全人的苦痛とケアの実践、特に、スピリチュアリティ（霊性）、スピリチュアルケア（霊的ケア）について学ぶ					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）医療福祉における全人的苦痛（トータルペイン）および全人的医療/ケアの概念を知る			1 全人的ケアの基本		
2）スピリチュアルニーズのアセスメントができる			1 全人的ケアの基本		
3）スピリチュアルケアの実際について関心を持つことが出来る			1 全人的ケアの基本		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	全人的苦痛（トータルペイン）/ケアの概念 スピリチュアリティとは？スピリチュアリティとＱＯＬ	講義	井手信	人間のスピリチュアル（霊的）な側面について テキスト第１、２章を読んでおくこと	４時間
2	スピリチュアルアセスメント ①スピリチュアルニーズのアセスメント	講義	井手信	テキスト第５、６章を読んでおくこと	４時間
3	スピリチュアルアセスメント ②アセスメント事例検討	演習	井手信	テキスト第５、６章を読んでおくこと	４時間
4	スピリチュアルケア ①スピリチュアルケアの実際	講義	井手信	テキスト第４章および６、７章を読んでおくこと	４時間
5	スピリチュアルケア ②スピリチュアルケア事例検討	演習	井手信	テキスト６、７章を読んでおくこと。当日は与えられた事例についてグループでディスカッションする	４時間
6	スピリチュアルケア ホスピスケア/グリーフケア	講義	井手信	終末期のスピリチュアルケアの実際について学ぶ	４時間
7	臨床における全人的苦痛とケア	講義	井手信	臨床事例のプレゼンテーション（ゲストスピーカー）	４時間
8	宗教とスピリチュアルケア・苦しみ・祈り・希望	演習	寺浜	当日は雪の聖母聖堂訪問予定 当日は聖堂内で講義の後、祈りの方法等を学ぶ	４時間
成績評価方法・基準		授業外レポート ５０％、授業内レポート ５０％			
課題に対するフィードバック		提出された課題レポートおよびリアクションペーパーについては次回授業内でコメントを伝えフィードバックする			
教科書		エリザベス・ジョンストン・テイラー：スピリチュアルケア 看護のための理論・研究・実践 医学書院			
参考書・参考文献		ミルトン・メイヤロフ：ケアの本質 ゆみる出版			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		井手信 オフィスアワー：水曜日 １６：３０～１７：３０ 連絡先：２号館２階 学院長室 メールアドレス：n-ide@stmaryacjp.onmicrosoft.com			

開設科目名	生命倫理Ⅱ	科目コード	BSNBG202	開設期	2年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	井手信	担当者	井手信、藤堂省		
授業の概要（授業の目的）					
本科目では生命科学・医療の進歩によってもたらされた多くの倫理的諸問題を学び、その倫理的問題の本質と人間の尊厳を尊重した社会、特に医療福祉（看護を含む）のすすむべき方向性を探求することを目的とする、					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）生命倫理の基盤となる人間の尊厳について考えることができる			1 全人的ケアの基本 2 倫理的本質		
2）倫理の原則と重要概念を理解する			1 全人的ケアの基本 2 倫理的本質		
3）臨床における事例から倫理的視点からの問題を抽出し問題解決過程を展開できる			1 全人的ケアの基本 2 倫理的本質		
4）人間の尊厳を尊重するためのより良い解決策を考えることができる			1 全人的ケアの基本 2 倫理的本質		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	科学・医療の進歩と倫理的問題	講義	井手 信	優性思想について調べておくこと	4時間
2	いのちに関する人為的関与と倫理的問題 ① 優性思想と人工妊娠中絶	講義	井手 信	優生保護法・母体保護法について調べておくこと テキスト7章（生殖医療と生命倫理）を読んでおくこと	4時間
3	② 生殖補助医療、出生前診断	講義	井手 信	テキスト7章を読んでおくこと	4時間
4	事例検討（倫理の原則を学ぶ）	演習	井手 信	テキスト1章－4，5（倫理の原則）を読んでおくこと 当日与えられた事例をもとにグループディスカッションする	4時間
5	人の死に関する人為的関与と倫理的問題	講義	井手 信	終末期医療の現状について調べておくこと	4時間
6	① 終末期医療	講義	井手 信	テキスト第9章（終末期医療と生命倫理）を読んでおくこと	4時間
7	② 脳死・臓器移植	講義	藤堂 省	テキスト第8章（脳死・臓器移植と生命倫理）を読んでおくこと	4時間
8	プレゼンテーション	演習	井手 信	各グループのプレゼンテーション	4時間
成績評価方法・基準		授業内レポート 50％、授業外レポート50％			
課題に対するフィードバック		提出された課題レポートおよびリアクションペーパーについては次回講義内でコメントを、最終回のプレゼンテーションについては即時コメントを伝えフィードバックする			
教科書		盛永審一郎編集：看護学生のための医療倫理 丸善出版			
参考書・参考文献		日本カトリック司教団：いのちへのまなざし（増補新版）カトリック中央協議会			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		井手信 オフィスアワー：水曜日16：30～17：30 メールアドレス：n-ide@stmaryacjp.onmicrosoft.com 自分の考えの根拠を探求することによって、専門職者としての自覚・看護観形成を促す科目でもあります。 思考の過程が大切です。しっかり勉強してください。			

開設科目名	English II（英語Ⅱ）	科目コード	BSNBG203	開設期	2年前期
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要（授業の目的）					
The purpose of this course is to continue from English I with the most necessary English medical words and phrases that nurses might need in the hospital setting, either in communicating with foreign patients or hospital staff. It will also give students the opportunity to use the basic English that they have already studied in new hospital-related situations. Students will also learn about different ways people from other Asian countries pronounce English to help students communicate with students from St. Mary’s College’s sister institutions in Asia.					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
Students will continue to learn the most important nursing and medical English			2 豊かな人間性の基礎 6 コミュニケーションスキル 11 多様な価値を尊重する姿勢 13 地域国際社会への貢献		
Students will continue to develop vocabulary and reading skills.					
Students will continue to develop writing skills.					
Students will continue to develop speaking skills through short presentations.					
Students will continue to learn about other countries and cultures.					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introduction to Course and Review of English I	講義	FORTIN	Unit 1 Preparation	3 時間
2	Unit 1: Becoming a Nurse	講義	FORTIN	Review & Unit 2 Preparation	3 時間
3	Unit 2: Basic Nursing Tasks	講義	FORTIN	Review & Unit 3 Preparation	3 時間
4	Unit 3: Patient’s First Visit	講義	FORTIN	Review	3 時間
5	Country Study: the Philippines	講義	FORTIN	Review & Unit 4 Preparation	3 時間
6	Unit 4: Daily Health Habits	講義	FORTIN	Review & Unit 5 Preparation	3 時間
7	Unit 5: Taking Vital Signs	講義	FORTIN	Review & Unit 6 Preparation	3 時間
8	Unit 6: Inside a Hospital	講義	FORTIN	Review & Test Study	3 時間
9	Small Test, Country Study: Vietnam	講義	FORTIN	Review & Unit 7 Preparation	3 時間
10	Unit 7: Common Illnesses	講義	FORTIN	Review & Unit 8 Preparation	3 時間
11	Unit 8: Hygiene	講義	FORTIN	Review & Unit 9 Preparation	3 時間
12	Unit 9: Nutrition	講義	FORTIN	Review & Unit 10 Preparation	3 時間
13	Unit 10: Elderly Patients	講義	FORTIN	Review & Unit 11 Preparation	3 時間
14	Unit 11: Medicine	講義	FORTIN	Review & Unit 12 Preparation	3 時間
15	Unit 12: Foreign Patients	講義	FORTIN	Report & Presentation Preparation	3 時間
成績評価方法・基準	Final exam: 40%; Small test: 10%; Report: 15%; Presentation: 15%; Study portfolio: 20%				
課題に対するフィードバック	・毎回の復習の模擬試験の解答チェックを行う ・レポートの書き直しの指示				
教科書	Jim Smiley & Michiyo Masui, 『Nursing Care』, Perceptia Press, Nagoya, 2013				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin（6号館 2F L621 研究）、オフィスアワー:水曜日 16:30～17:30				

開設科目名	Intercultural Awareness	科目コード	BSNBG204	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（自由）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要（授業の目的）					
This class is the third class of the Global Human Resources course at St. Mary’s College. In this class students will enhance their awareness of both the differences as well as the similarities among various cultures around the world. They will use the English that they have learned previously to express their understanding and opinions about those cultures and their customs.					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) Students will develop confidence in speaking about various topics.			6 コミュニケーションスキル（語学）		
2) Students will develop fluency using previously-studied vocabulary and grammar.			2 豊かな人間性の基礎		
3) Students will be able to conduct common situational conversations.			6 コミュニケーションスキル（語学）		
4) Students will understand the importance of cross-cultural communication.			13 地域国際社会への貢献		
			11 多様な価値尊重		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Understanding Intercultural Diversity	講義	FORTIN	Develop your Intercultural Awareness unit	2 時間
2	Food, Culture, and Society	講義	FORTIN	Review	2 時間
3	Better Lifestyles in Different Cultures	講義	FORTIN	Review	2 時間
4	Being an Intercultural Traveler	講義	FORTIN	Review	2 時間
5	Cultivating Global Citizenship	講義	FORTIN	Review	2 時間
6	Attitudes toward Gender Roles	講義	FORTIN	Review	2 時間
7	Causes of War and World Peace	講義	FORTIN	Review	2 時間
8	Engaging in more Globalization	講義	FORTIN	Review	2 時間
成績評価方法・基準		Final report: 40%; Discussion leadership: 40%; Participation: 20%			
課題に対するフィードバック		授業中のテーマによって毎回浅い文化と深い文化の違いの考慮			
教科書		教員のプリント			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		Eric Fortin (6 号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30～17:30			

開設科目名	English Practice Abroad	科目コード	BSNBG205	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	3 単位（自由）	時間数	90 時間	授業区分	講義
責任者	Eric FORTIN	担当者	Eric FORTIN		
授業の概要（授業の目的）					
This class is part of the Global Studies course at St. Mary's College. In this class students will spend two weeks at Canossa College in the Philippines, near Manila. At this institution, which is one of St. Mary's College's sister colleges, students will have intensive English classes as well as cultural activities in morning and afternoon sessions. The English classes will be general communication classes during the first week, and by the end of the second week they will be asked to host their own farewell party. They will also be able to observe and participate in nursing classes for Filipino nursing students.					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) Students will develop confidence in speaking about various topics.			6 コミュニケーションスキル（語学）		
2) Students will develop fluency using previously-studied vocabulary and grammar.			2 豊かな人間性の基礎		
3) Students will be able to conduct common situational conversations.			6 コミュニケーションスキル（語学）		
4) Students will understand the importance of cross-cultural communication.			13 地域国際社会への貢献		
5) Students will have direct contact with the Filipino culture.			11 多様な価値尊重		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Pre-Departure Preparation	講義	Fortin	Come with English motivation and mindset	2 時間
2	Orientation and Diagnostic Tests	講義	Core Team	Prepare greetings & Learn about Filipino culture	2 時間
3	Introduction and Greetings	講義	Maghirang	Homework/Review	2 時間
4	Travel and Directions	講義	Suavengco	Homework/Review	2 時間
5	Time, Date, and Weather	講義	Go	Homework/Review	2 時間
6	Numbers, Money, and Shopping	講義	Reyes	Homework/Review	2 時間
7	Cultural Expressions and Making Friends	講義	Sanchez /Mata		2 時間
8	Communication Difficulties	講義	Maghirang	Homework/Review	2 時間
9	Emergency and Health	講義	Pasco	Homework/Review	2 時間
10	Work and Dining	講義	Core Team	Homework/Review	2 時間
11	Communication Activities	講義	Core Team	Prepare for hosting farewell party	2 時間
12	Post-Arrival Discussion	講義	Fortin	Prepare summaries for discussion	2 時間
成績評価方法・基準	Daily class participation/assignments: 30%; Final Filipino staff evaluation: 30%; Engagement with Filipino faculty/staff/students outside class: 20%; Post-Return discussion session & report: 20%				
課題に対するフィードバック	・フィリピンで授業後（夕方）の反省会 ・帰国後の反省会（英語・フィリピンの文化について学んだこと）				
教科書	特になし				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	Eric Fortin (6 号館 2F L621 研究室)、オフィスアワー:水曜日 16:30～17:30				

開設科目名	臨床病態学Ⅰ	科目コード	BSNFN201	開設期	2年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	3 0 時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道		
授業の概要（授業の目的）					
健康障害（疾病）の病態生理を理解するとともに、症状、診断、治療、予後について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 健康障害（疾病）の病態生理を理解することができる			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2) 症状を理解することができる					
3) 診断と治療を理解することができる					
4) 病気の予後について理解することができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	消化器①必須の解剖・生理	講義	中山	消化器必須の解剖、生理	1 時間
2	消化器②食道・胃・十二指腸疾患	講義	中山	食道癌、アカラシア、胃炎、胃十二指腸潰瘍、胃癌など	1 時間
3	消化器③腸炎・腹膜疾患	講義	中山	感染性腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病など	1 時間
4	消化器④大腸・イレウス・肛門疾患	講義	中山	腸閉塞症、ヘルニア、大腸癌、痔核など	1 時間
5	消化器⑤肝疾患（肝炎・肝臓 ・門脈亢進症）	講義	中山	肝炎(A,B,C 型)、肝癌、肝硬変、門脈圧亢進症など	1 時間
6	消化器⑥胆石症、胆嚢・胆管癌	講義	中山	胆石症(診断・治療)、胆嚢、胆管癌(診断・治療)など	1 時間
7	消化器⑦脾疾患（脾炎、脾臓癌）	講義	中山	急性脾炎、慢性脾炎、脾頭、体尾部癌	1 時間
8	循環器①必須の解剖・生理	講義	中山	循環器必須の解剖・生理	1 時間
9	循環器②虚血性心疾患、心不全、血圧異常	講義	中山	安定冠状動脈疾患、急性冠症候群など	1 時間
10	循環器③不整脈 ・弁膜症・先天性心疾患	講義	中山	徐脈性、頻脈性不整脈、弁膜症、ファロー四徴症など	1 時間
11	循環器④動脈系疾患・静脈系疾患・リンパ系疾患	講義	中山	大動脈瘤、大動脈解離、バージャー病、レイノー病、静脈瘤など	1 時間
12	脳・神経①必須の解剖 ・機能（意識障害、高次脳機能障害、運動機能障害）	講義	中山	脳・神経必須の解剖・機能（意識障害、高次脳機能障害、運動機能障害）	1 時間
13	脳・神経②脳血管障害（クモ膜下出血、脳出血、脳梗塞）	講義	中山	クモ膜下出血、脳出血、脳梗塞	1 時間
14	脳・神経③脳腫瘍、脳の感染症、頭部外傷	講義	中山	主な脳腫瘍、脳膿瘍、頭部外傷 など	1 時間
15	脳神経④脳脊髄液の異常、脊髄疾患、神経・筋疾患 脳神経系の感染症、てんかん・認知症	講義	中山	水頭症、急性、脊髄炎頸椎症、腰椎症、脳炎、髄膜炎、認知症を呈する主な疾患	1 時間
成績評価方法・基準		①筆記試験 9 0 % ②小テスト 1 0 %（成績の良い人は加算する）			
課題に対するフィードバック		前回講義した授業項目について毎回小テストを行い、その解説を行う			
教科書		系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [3] 循環器、医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [5] 消化器、医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経、医学書院			
参考書・参考文献		特になし			
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他		中山和道（2 号館 1 階 212 研究室）、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1 年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。			

開設科目名	臨床病態学Ⅱ	科目コード	BSNFN202	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、東治道、今村 豊、佐藤雄一、江口善朗、葉清泉、村上文洋、坂西雄太		
授業の概要（授業の目的）					
看護学の学修や実習に必要な健康障害（疾病）の病態生理を理解し、症状、診断、治療、予後に関する知識を身につける					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 看護学の学修や実習に必要な健康障害（疾病）の病態生理を理解し、説明できる				3 看護実践知識	
2. 健康障害（疾病）の症状、診断、治療、予後を説明できる				4 倫理的・科学的問題発見力	
3. 健康障害（疾病）の知識が看護でどのように役立つかを説明できる				5 問題解決判断力	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	血液・造血器	講義	今村	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
2	血液・造血器	講義	今村	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
3	代謝、糖脂質代謝	講義	佐藤	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
4	代謝、糖脂質代謝	講義	佐藤	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
5	代謝、たんぱく質代謝など	講義	坂西	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
6	内分泌・代謝	講義	坂西	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
7	内分泌・代謝	講義	坂西	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
8	内分泌・代謝	講義	坂西	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
9	腎疾患	講義	東	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
10	腎疾患	講義	東	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
11	泌尿生殖器	講義	江口	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
12	女性医学	講義	村上	講義の復習	60 分
13	生殖・内分泌疾患	講義	村上	講義の復習	60 分
14	婦人科腫瘍	講義	葉	講義の復習	60 分
15	まとめ	講義	中山	テキストの復習、講義の復習	60 分
成績評価方法・基準		筆記試験 100%			
課題に対するフィードバック		最後の講義日に全体の振り返りを行う			
教科書		系統看護学講座、成人看護 2,4,6,8,9、母性看護学各論 母性看護学（2）			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		中山和道（2 号館 1 階 212 研究室）、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1 年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。 注意：講義は複数の講師が担当します。健康障害（疾患）の後に、講師の名前があります。講師の都合で順番が入れ替わることがありますので、時間割表をみて、どの講師が講義を担当するかをチェックして、予習をしてください。			

開設科目名	臨床病態学Ⅲ	科目コード	BSNFN203	開設期	2年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、中野輝明、酒井輝文、森本修充、福井卓子、坂西雄太		
授業の概要（授業の目的）					
看護学の学修や実習に必要な健康障害（疾病）の病態生理を理解し、症状、診断、治療、予後に関する知識を身につける					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1．看護学の学修や実習に必要な健康障害（疾病）の病態生理を理解し、説明できる			3 看護実践知識		
2．健康障害（疾病）の症状、診断、治療、予後を説明できる			4 倫理的・科学的問題発見力		
3．健康障害（疾病）の知識が看護でどのように役立つかを説明できる			5 問題解決判断力		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	精神疾患	講義	森本	講義の復習	60 分
2	精神疾患	講義	森本	講義の復習	60 分
3	精神疾患	講義	森本	講義の復習	60 分
4	呼吸器	講義	坂西	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
5	呼吸器	講義	坂西	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
6	免疫・アレルギー（膠原病）	講義	中野	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
7	免疫・アレルギー（膠原病）	講義	中野	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
8	免疫・アレルギー（膠原病）	講義	中野	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
9	感染症	講義	坂西	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
10	感染症	講義	坂西	テキストの予習と復習、講義の復習	60 分
11	人間ドック検査(血液検査、腫瘍マーカー)	講義	福井	講義の復習	60 分
12	胃腸の疾患と検査	講義	酒井	講義の復習	60 分
13	肝・胆・膵疾患と検査	講義	酒井	講義の復習	60 分
14	心電図、肺機能検査などの生理機能検査	講義	坂西	講義の復習	60 分
15	まとめ	講義	中山	講義の復習	60 分
成績評価方法・基準		筆記試験 100%			
課題に対するフィードバック		最後の講義日に全体の振り返りを行う			
教科書		系統看護学講座、成人看護 2,3,5,11			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		中山和道（2号館1階212研究室）、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分理解するためには、1年次の解剖学、生理学、病理学の理解が前提です。復習しておくこと。 注意：講義は複数の講師が担当します。健康障害（疾患）の後に、講師の名前があります。講師の都合で順番が入れ替わることがありますので、時間割表をみて、どの講師が講義を担当するかをチェックして、予習をしてください。			

開設科目名	臨床病態学Ⅳ	科目コード	BSNFN204	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	3 0 時間	授業区分	講義
責任者	中山和道	担当者	中山和道、堀大蔵		
授業の概要（授業の目的）					
健康障害（疾病）の病態生理を理解するとともに、症状、診断、治療、予後について学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1) 健康障害（疾病）の病態生理を理解することができる				3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力	
2) 症状を理解することができる					
3) 診断と治療を理解することができる					
4) 病気の予後について理解することができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	運動器①必須の解剖・機能	講義	中山	運動器必須の解剖・機能	1 時間
2	運動器②骨折、脱臼、捻挫、打撲	講義	中山	骨折の分類、症状・治療、脱臼、捻挫の治療など	1 時間
3	運動器③脊髄疾患、上肢および下肢の疾患	講義	中山	脊椎損傷、末梢神経損傷、腱靱帯損傷など	1 時間
4	眼①機能障害、結膜疾患、眼底疾患	講義	中山	眼の構造と機能、屈折、調節の異常、結膜疾患など	1 時間
5	眼②白内障、緑内障	講義	中山	白内障、緑内障の原因、症状・治療など	1 時間
6	耳鼻咽喉①)外耳・中耳・内耳疾患	講義	中山	耳の構造と機能、急性・慢性中耳炎など	1 時間
7	耳鼻咽喉②)鼻・咽喉頭疾患	講義	中山	メニエール病、鼻出血、副鼻腔炎、気道異物など	1 時間
8	皮膚①表在性皮膚疾患、物理・化学的皮膚障害	講義	中山	皮膚の構造と機能、湿疹・皮膚炎群、蕁麻疹群、薬疹など	1 時間
9	皮膚②腫瘍および色素異常症	講義	中山	メラノサイト系腫瘍、間葉系腫瘍など	1 時間
10	皮膚③微生物・動物が関与する疾患	講義	中山	一般細菌感染症、ウイルス感染症など	1 時間
11	麻酔：麻酔一般	講義	中山	局所麻酔、全身麻酔の基本、全身麻酔時の麻酔深度と臨床徴候など	1 時間
12	歯・口腔の構造と機能、齲蝕・歯髄炎、歯槽膿漏、その他口腔内疾患	講義	中山	歯・口腔の構造と機能、齲蝕の治療、唾液腺の疾患など	1 時間
13	産科①妊娠の異常・ハイリスク妊娠とは	講義	堀	妊娠の異常・ハイリスク妊娠など	1 時間
14	産科②異常妊娠 流早産・妊娠高血圧症候群 多胎妊娠 他 偶発全身性疾患（婦人科疾患は除く） 糖尿病・妊娠糖尿病 他	講義	堀	流早産・妊娠高血圧症候群・多胎妊娠 他 偶発全身性疾患（婦人科疾患は除く）・糖尿病・妊娠糖尿病 など	1 時間
15	産科③胎児発育異常・胎児機能不全 分娩の異常	講義	堀	胎児発育異常・胎児機能不全・分娩の異常など	1 時間
成績評価方法・基準		①筆記試験 9 0 % ②小テスト 1 0 %（成績の良い人は加算する）			
課題に対するフィードバック		前回講義した授業項目について毎回小テストを行い、その解説を行う			
教科書		系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [9] 女性生殖器、医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [10] 運動器、医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [12] 皮膚、医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [13] 眼、医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉科、医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学 [15] 歯・口腔、医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学 2、医学書院			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		中山和道（2 号館 1 階 212 研究室）、オフィスアワー：火曜日 12:10～13:10 ※授業項目を十分に理解するためには 1 年次の解剖学・生理学・病理学の理解が前提です。復習をしておくこと。			

開設科目名	薬理学	科目コード	BSNFN205	開設期	2年前期
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	田中正敏	担当者	田中正敏		
授業の概要（授業の目的）					
薬物の起源、性状、生体に対する作用、作用機転、吸収、生体内変化、排泄、治療的应用、中毒、製剤、薬物の取り扱い管理などについて講義する。内容としては、総論では①薬理作用の分類 ②薬物の種類、効き方 ③薬物の吸収・排泄 ④用量と薬理作用 ⑤薬物の毒性などで、各論では①中枢神経作用薬 ②末梢神経作用薬 ③自律神経作用薬 ④循環器・呼吸器作用薬 ⑤消化器作用薬 ⑥抗生物質・抗腫瘍薬などで、代替療法、さらに東洋医学的な漢方・鍼灸についても学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 薬物の生体に対する作用、作用機転、吸収、分布、代謝、排泄、治療的应用、中毒、薬物の取り扱い、管理などについて述べることができる。			3 看護実践知識		
2) 中枢神経作用薬、末梢神経作用薬、循環器作用薬、呼吸器作用薬、利尿薬、消化器作用薬などについて主な作用と副作用、臨床応用について述べることができる。			4 論理的・科学的問題発見力		
3) これらの知識を応用して適切な服薬指導を行うことができる。			5 問題解決判断力		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	薬理学の概念、薬理作用の分類、薬物の種類 薬の効き方(作用機序、機転)	講義	田中	復習：冊子として配布されているシラバスを講義後に読むこと	4時間
2	薬物の生体膜通過、 薬物の吸収・分布、 薬物の代謝・排泄	講義	田中	教科書の薬の効き方の図を見て復習する 教科書の吸収・分布の図を見て復習する 教科書の代謝・排泄の図を見て復習する	4時間
3	薬物動態値、用量と薬理作用	講義	田中	用量と薬理作用の図を描いて復習する	4時間
4	応用法と薬理作用、 反復応用と薬理作用	講義	田中	応用法ごとの長所・短所をまとめる 反復応用であることを述べる	4時間
5	薬物の併用でみられる作用、 薬物に対する反応性の違い・薬物の毒性	講義	田中	拮抗について教科書の図を見て復習する 教科書の薬物アレルギーの図を見て復習する	4時間
6	麻酔薬・睡眠薬	講義	田中	教科書の麻酔薬・睡眠薬の図を見て復習する	4時間
7	抗けいれん薬・抗てんかん薬 鎮痛薬・解熱薬	講義	田中	教科書の抗てんかん薬の図を見て復習する 教科書の鎮痛薬の図を見て復習する	4時間
8	向精神薬・中枢興奮薬	講義	田中	教科書の向精神薬の図を見て復習する	4時間
9	アルコール 抗パーキンソン病薬・認知症治療薬	講義	田中	教科書のアルコールの図を見て復習する 教科書の抗パーキンソン病薬の図を見て復習する	4時間
10	局所麻酔薬・筋弛緩薬	講義	田中	教科書の局所麻酔薬・筋弛緩薬の図を見て復習する	4時間
11	自律神経作用薬	講義	田中	教科書の自律神経作用薬の図を見て復習する	4時間
12	循環器作用薬・血液作用薬・生体内活性物質	講義	田中	教科書の循環器作用薬・血液作用薬の図を見て復習する	4時間
13	呼吸器作用薬・利尿薬	講義	田中	教科書の呼吸器作用薬・利尿薬の図を見て復習する	4時間
14	消化器作用薬 化学療法薬、抗生物質、抗腫瘍薬	講義	田中	教科書の消化器作用薬の図を見て復習する 教科書の化学療法薬の図を見て復習する	4時間
15	ホルモン及びその関連物質 代替療法、東洋医学的な漢方・鍼灸	講義	田中	教科書のホルモン及びその関連物質の図を見て復習する 教科書の東洋医学的な漢方の図を見て復習する	4時間
成績評価方法・基準		①定期試験（筆記試験） 100%			
課題に対するフィードバック		講義内に小テストを行い、その解答解説を行う			
教科書		田中正敏著『新版 超図解 薬はなぜ効くか』講談社2011			
参考書・参考文献		特になし			
ワイアワ 学習相談 メッセージ その他		田中正敏（非常勤） 授業終了後、教室で質問を受け付けます 講義にパワーポイント使用。別途シラバスを配布するので講義の要点をその都度記載していくこと			

開設科目名	人間工学	科目コード	BSNFN206	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（選択）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	西口宏美	担当者	西口宏美		
授業の概要（授業の目的）					
人が快適に生活でき、能率良く生産性を上げるためには、そこで生活する人や作業する人の環境を整えたり、使用する機械、工具、道具類の使用を誤りなく、使いやすいように整えておかねばならない。こうした生活しやすい、働きやすい環境を整えるような人間工学的視点を学ぶ。内容としては、「人間工学とは」、人間の諸特性と姿勢・動作、人間工学とボディメカニクス、人間工学の応用、看護への人間工学応用（患者介助法）などである。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）人間工学の誕生の経緯，目的と適用分野について理解することができる。			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 5 問題解決判断力		
2）人間機能について理解し，人間行動を S-R モデルで説明できるようになる。					
3）組織における人間行動について，客観的に分析する力を身につける。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	人間工学の誕生の経緯，目的と適用分野	講義	西口	事前に人間工学について調べておく 配布資料の復習	4 時間
2	人間行動と情報処理モデル （S－Rモデルを基にした人間行動について）	講義	西口	我々の日常生活の内容について調べておく。 配布資料の復習	4 時間
3	人間の機能① （感覚機能について）	講義	西口	人間の視覚、聴覚について調べておく 配布資料の復習	4 時間
4	人間の機能② （知覚・認知機能について）	講義	西口	人間の思考について調べておく 配布資料の復習	4 時間
5	人間の機能③ （運動機能，上肢の機能評価方法について）	講義	西口	人間の上肢・下肢の働きについて調べておく 配布資料の復習	4 時間
6	人間行動とエラー （なぜエラーが発生するのか人間工学的に考える）	講義	西口	人間がおかすエラーと事故の関係について考えてみる 配布資料の復習	4 時間
7	組織における人間行動① （モチベーションとパフォーマンス）	講義	西口	組織とは何か調べておく 配布資料の復習	4 時間
8	組織における人間行動② （エラーと人的要因，組織風土との関連性）	講義	西口	組織行動について調べておく 配布資料の復習	4 時間
成績評価方法・基準		・授業中に出す課題 … 20％ ・（期末試験の代替措置として課す）まとめのレポート課題 … 80％			
課題に対するフィードバック		上記に関して、講義最終日に講義の総評や今後の学習アドバイスをを行います。			
教科書		西口宏美：「人間行動と組織行動-パフォーマンス向上の視点から-」，コロナ社			
参考書・参考文献		齋藤むら子他：『職場適応工学 人間主体の知覚・行動形成』，日本出版サービス。 横溝克己他：『エンジニアのための人間工学－第4版－』，日本出版サービス。 大河原千鶴子他：『ヘルス・ケア・ワークを支える看護の人間工学』，医歯薬出版。 早稲田大学生命・生体・福祉研究所編：『生命・医療・福祉ハンドブック』，コロナ社。			
オフィスワーク 学習相談 メッセージ その他		西口宏美（非常勤） 授業終了後、教室で対応します。それ以外は NAH00632@nifty.com 宛のメールでの連絡を受け付けます。 この授業を通じて，人間行動を客観的に見る力を身に付けてください。			

開設科目名	医療統計学Ⅰ	科目コード	BSNFN207	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	井手三郎	担当者	井手三郎		
授業の概要（授業の目的）					
医科学領域において特に有益であると思われる統計学の基礎的概念や考え方を理解する。疫学で用いられる生物統計学理論に主眼を置く。データの記述、代表値、散布度、正規分布等の確率分布、検定、推定、相関等の基本的事項について学ぶ。情報リテラシーを駆使した、Evidence Based Medicine (EBM)の実践の基本的理解に必要な基盤を醸成する。論理的・科学的問題発見力と、問題解決判断力による思考判断が行うことが出来るようになる。看護領域において、特に実践的知識という知識・理解を到達目標とする。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）データより標準偏差等を求め、特定事象の発生頻度を理解し、説明できる。			◎ 4 論理的・科学的問題発見力 ◎ 5 問題解決判断力 ◎ 9 科学的根拠に基づく看護		
2）確率分布等の基本的事項について理解し、説明できる。					
3）検定、推定、相関等の基本的事項について理解し、説明できる。					
4）EBM の実践の基本的理解に必要な事項について理解し、説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	講義の内容及び到達目標の概説	講義	井手	テキスト① 1-3 章、予習と講義の復習	4 時間
2	標準偏差、分散、偏差値等	講義	井手	テキスト① 4 章、予習と講義の復習	4 時間
3	正規分布・標準正規分布	講義	井手	テキスト① 5, 8 章、予習と講義の復習	4 時間
4	標本平均の分布と推定の概念	講義	井手	テキスト① 6 章、予習と講義の復習	4 時間
5	検定の概念と平均値の検定（1）	講義	井手	テキスト① 6 章、予習と講義の復習	4 時間
6	平均値の検定（2）	講義	井手	テキスト① 7 章、予習と講義の復習	4 時間
7	関連性の検定	講義	井手	テキスト① 9-10 章、予習と講義の復習	4 時間
8	相関・回帰	講義	井手	テキスト① 11 章、予習と講義の復習	2 時間
成績評価方法・基準	筆記試験 60％ 講義時間内の確認テスト及び宿題・授業外レポート等 30％ 授業態度10％				
課題に対するフィードバック	課題については適宜講義時間内に説明・解説する				
教科書	加納克己他著 『基礎医学統計学』 南江堂				
参考書・参考文献	特になし				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	井手三郎（6 号館 2F L627 研究室）、オフィスアワー：木曜 16:30～17:30 予習・復習が完璧でないと毎回の授業が理解困難となります。				

開設科目名	疫学Ⅰ	科目コード	BSNFN208	開設期	2 年 前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	1 5 時間	授業区分	講義
責任者	井手 悠一郎	担当者	井手 悠一郎		
授業の概要（授業の目的）					
疫学は伝染病対策のために利用されてきたが、第二次世界大戦後は生活習慣病の発生要因の解明とその予防のために利用されている。公衆衛生活動の基礎的方法論でもある疫学とはどのような学問であり、疫学的な因果推論とはどのような概念であるかを理解する。研究デザインや健康指標を理解するだけではなく、将来専門職として活動する際のデータの収集のための調査方法や調査の際のインフォームド・コンセント、個人情報保護などの倫理的配慮も理解する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
疫学的思考について理解する。			3 看護実践知識		
自ら学習する態度を身につける。			1 4 看護学発展への主体的探求姿勢		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	疫学とは、疫学的指標①（割合、率）	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
2	疫学的指標②（比）	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
3	研究デザイン①（観察研究）	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
4	研究デザイン②（介入研究）	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
5	偏りと交絡	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
6	因果関係、スクリーニング	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
7	疫学と倫理	講義	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4 時間
8	疫学研究の実際、まとめ	講義	井手	授業内容の復習	2 時間
成績評価方法・基準	①各回の復習レポート 50%（提出は WebClass（専門基礎分野（全学年））に行ってください。） ②筆記試験 50%（前期試験期間中に実施します、持込は不可です）				
課題に対するフィードバック	試験後、筆記試験の模範解答は WebClass（専門基礎分野（全学年））に掲載します。 なお昨年度の試験問題の模範解答についても併せて WebClass に掲載していますので、併せて参照してください。 （同じ問題は出題しませんので、問われたポイントの確認という視点で確認してください。）				
教科書	指定なし				
参考書・参考文献	医学書院『基礎から学ぶ 楽しい疫学』（授業はこちらに基づいて行います。疫学について深く学びたい人には購入をお勧めします）				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	連絡先 井手悠一郎（6 号館 2 階 井手悠一郎研究室）、オフィスアワー：火曜 16：00～17：00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。 メール等での質問も可です。（アドレスについては Office 365 を参照してください） ICT の活用：復習レポートにおいては、1～8 回の授業内容についての復習ノートを作成し、Office Lens 等で撮影を行った上で、WebClass（専門基礎分野（全学年））へ提出してください（提出可能形式：.doc、.pdf のみ） また提出してもらった小レポートは、今年度以降もコースに残す予定です。授業終了後も必要に応じ、提出物の参照等をおこなってください。 昨年度の単位認定試験の模範解答を掲載します。学習の際に参照し、授業内容理解に役立ててください。 メッセージ：この科目は保健師コース選抜の際に成績が参照される科目の 1 つです。保健師資格の取得を目指す人は、特にがんばって授業に臨んでください。				

開設科目名	精神看護学概論	科目コード	BSNFN209	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	谷多江子	担当者	谷多江子、眞崎直子、他		
授業の概要（授業の目的）					
心・身体・社会（環境）の関連性において人間の精神的側面を学び、精神看護学の基本的な考え方を理解する。さらに、心の健康の概念、ライフサイクルと精神保健の問題、現代社会における精神保健の問題を理解し、人間の精神活動をトータルに捉える視点を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 精神医療の変遷と現状を知り、精神障がい者が生きる環境について考えることができる。			◎1. 生命の価値・人間の尊厳 2. 豊かな人間性の基礎 ◎3. 看護実践知識 4. 論理的・科学的問題発見力 5. 問題解決判断力		
2) ストレス対処・適応および心の健康の概念を理解できる。					
3) ライフサイクル各期における心の危機的状況とケアについて理解できる。					
4) 精神障がい者が体験している世界についてイメージすることができる。					
5) 精神科看護実践に必要な看護理論について説明できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	精神医療の変遷	講義	眞崎	テキスト 第 I 章 5 を読んでおく。	4 時間
2	ライフサイクルにおけるメンタルヘルス(1)概要・発表準備	講義・ GW	谷	テキスト 第 II 章を読んでおく。	4 時間
3	ライフサイクルにおけるメンタルヘルス(2)発表準備	GW	谷	発表内容に関連する資料を読む。	4 時間
4	乳幼児期～青年期のメンタルヘルス	発表・解説	谷	発表内容に関連する資料を読む。	4 時間
5	成人期～老年期のメンタルヘルス	発表・解説	谷	発表内容に関連する資料を読む。	4 時間
6	職場、環境要因に関するメンタルヘルス	発表・解説	谷	発表内容に関連する資料を読む。	4 時間
7	精神障がい者の世界（1）	DVD 視聴	谷	事前に統合失調症について調べておく。	4 時間
8	精神障がい者の世界（2）まとめ	講義	谷	※課題は講義中に提示します	2 時間
成績評価方法・基準	授業内課題 30% 小テスト 30% 授業への参加態度 40%				
課題に対するフィードバック	講義中にフィードバックします。				
教科書	① 精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種のつながり 南江堂 2015 ② 精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア 南江堂 2015				
参考書・参考文献	特に指定しない				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	谷 多江子（6 号館 622 研究室） オフィスアワー：月曜日 16:30～17:30 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	ウイメンズヘルス概論	科目コード	BSNFN210	開設期	2 年 前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	桃井雅子	担当者	桃井雅子		
授業の概要（授業の目的）					
リプロダクティブ・ヘルス＆ライツの概念を基に、倫理、命の尊厳を重視したリプロダクティブ・ヘルス＆ライツについて、母性看護学の視点より学修する。 リプロダクティブ・ヘルス＆ライツに関する基本的な概念を理解した上で、母性の成長・発達とその看護を学び、母子保健、母子福祉などについて考察する。 また、ウイメンズヘルスおよび性差医療の視点から、女性のライフサイクル各期における健康について学び、その看護について考察する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー（学位授与の方針）との関連		
1）母性看護・周産期看護の視点から、生命倫理および命の尊厳について考察できる。			1. 生命の価値・人間の尊厳 2. 豊かな人間性の基礎		
2）母性看護・周産期看護の基盤となる理念と、看護者の役割について理解できる。			1. 生命の価値・人間の尊厳 3. 看護実践知識		
3）母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論について理解できる。					
4）母性看護・周産期看護における倫理的課題を知り、看護者の役割について考察できる。			◎ 3. 看護実践知識		
5）女性のライフサイクル各期における健康課題を理解し、その看護を考察できる。			◎ 4. 倫理的・科学的問題発見力		
6）母子保健・母子福祉の現状を知り、看護者の役割・責務について考察できる。			5. 問題解決判断力 7. 情報リテラシー		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習（学習課題）	取組時間
1	母性看護・周産期看護と生命倫理 母性看護・周産期看護における倫理的課題と看護者の役割	講義	桃井	・既習科目「生命倫理Ⅰ」を復習しておく ・教科書 第5章 第1節 を読んでおく	4 時間
2	母性看護・周産期看護の基盤となる理念と看護者の役割	講義	桃井	・教科書 第3章 第3節 を読んでおく	4 時間
3	母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論 ① 「リプロダクティブ・ヘルス＆ライツ」 「ヘルスプロモーション」	講義	桃井	・教科書 第1章 第1節、第3章 を読んでおく	8 時間
4	母性看護・周産期看護において適用される基本概念・理論 ②「愛着」 「親役割」	講義	桃井		
5	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 ① ライフサイクル各期における健康課題と看護の理解・考察	講義 GW	桃井	教科書 第2章を読み、関心のあるテーマについて事前に個人学習を行い授業に臨む。 （詳細は、第1回目の授業時に説明する）	8 時間
6	女性のライフサイクルにおける健康課題と看護 ② 学修成果の共有	講義 GW	桃井		
7	母子保健・母子福祉の現状と看護者の役割 ① 現状の理解、看護者の役割・責務の理解と考察	講義 GW	桃井	教科書 第4章を読み、関心のあるテーマについて事前に個人学習を行い授業に臨む。 （詳細は、第1回目の授業時に説明する）	8 時間
8	母子保健・母子福祉の現状と看護者の役割 ② 学修成果の共有 本科目のまとめ	講義 GW	桃井		
成績評価方法・基準	・授業外レポート 50％，演習課題への取り組み（個人学習・グループ学習）50％				
課題に対するフィードバック	・課題のフィードバックは講義中および本科目の最終講義において行います。				
教科書	有森直子編著（2016）：母性看護学Ⅰ 概論 第2版，医歯薬出版，東京。				
参考書・参考文献	・日本カトリック司教団（2017）：いのちへのまなざし 増補新版，カトリック中央協議会，東京。 ＊他、各授業内容に応じて参考書・参考文献をご紹介します。				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	＊ オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00 ＊ 学習相談：随時受け付けます。 ＊ メッセージ： 本科目を通して、ナイチンゲールが著書「看護覚え書」において述べている“命（life）”と“生命力（vital power）”を振り返り、母性看護・周産期看護における看護ケア者として、いのちを尊ぶこととはどのようなことか、また、いのちのはじまり（誕生）を、どのように護り支えることが求められているかについて、深く考える時を持ってくださることを願っています。 ＊ その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	小児看護学概論	科目コード	BSNFN211	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	永島 すえみ	担当者	永島 すえみ、その他		
授業の概要（授業の目的）					
子どもとその家族を理解するために、子どもの成長・発達ならびに健やかな健康に必要な環境を理解し、子どもとその家族の生活の援助ができる知識と態度を学ぶ。 また、子どもをめぐる社会現象や子育て支援の課題等に対する小児看護の役割を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 社会の一員としての子どもの権利を理解し、子どものおかれた社会環境を学ぶ。			◎1 人間の尊厳理解 3 看護実践知識 ◎4 問題発見力 8 看護実践技術 10 倫理的姿勢		
2) 子どもと環境（家族を含む）の相互作用を学び、小児看護の役割を説明できる。					
3) 子どもの成長・発達の特徴を理解できる。					
4) 子どものコミュニケーションの特徴を理解し、日常生活習慣への支援を説明できる。					
5) 子どもの健康増進に向けた取り組みを理解できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	小児看護学概説；小児看護の対象や目的	講義	その他	1.教科書 1 章 1 を予習	4 時間
2	小児看護の歴史/子どもの権利と関連法規	講義	その他	1.教科書 1 章 2, 3, 4 を予習 * 課題に取り組む	4 時間
3	子どもの発達と家庭と集団、地域とのかかわり	講義 討議	その他	2.教科書 1 5 章～2 0 章を予習 * 課題に取り組む	4 時間
4	成長発達の原則と子どもに関連する理論	講義	永島	1.教科書 1 章 5, 2 章 1 を予習	4 時間
5	乳児期の子どもの成長発達と看護	講義	永島	講義 1～3 の復習 1.教科書 2 章 2 を予習	4 時間
6	幼児期の子どもの成長発達と看護	講義	永島	1.教科書 2 章 3 を予習	4 時間
7	学童期・思春期の子どもの成長発達と看護	講義	永島	1.教科書 2 章 4, 5 を予習	4 時間
8	発達評価、事例検討（子どもの最善の権利について）	講義 討議	永島	講義 4～7 の復習 1.教科書 2 章 6 を予習	4 時間
成績評価方法・基準	筆記試験 60％ レポート課題 30％ 討議 1 0％				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、コメントをつけて返却する。討議については、各グループに対してコメントを行う。				
教科書	1.中野綾美編集『ナースング・グラフィカ小児看護学 ①小児の発達と看護 第6版』メディカ出版、2019 2.シスター・カリスト・ロイ著：ザ・ロイ適応看護モデル 第2版、医学書院 2014				
参考書・参考文献	厚生労働統計協会 厚生指標増刊 国民衛生の動向 2019/2020 2019 年 8 月発行 恩賜財団母子愛育会 愛育研究所編『日本子ども資料年鑑 2020』KTC 中央出版 2020 筒井真優美 編『小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア 第8版』日総研 2017				
オフィスワ 学習相談 メッセージ その他	永島すえみ（非常勤） 事前に教科書は読んでおくこと。講義中に配布した資料は次回までに再度、復習すること。 質問事項に対しては講義終了後に質問を受け付けます。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	老年看護学概論	科目コード	BSNFN212	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義・演習
責任者	中村和代	担当者	中村和代		
授業の概要（授業の目的）					
老年期の発達段階を理解し、加齢に伴う身体的、精神的、心理的变化やそれらが生活に及ぼす影響について学ぶ。また、高齢者を取り巻く社会動向、施策の変遷および今後の課題について学修する。それらをふまえ、老年看護の意義や役割について理解する。さらに、倫理や尊厳に配慮したケアの考え方、対象者に応じた QOL の維持・向上に向けた支援について探求していく姿勢を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 人口構造の変化、およびそれに伴う今後の課題について理解できる			2.豊かな人間性の基礎 3.看護実践知識 ◎11.多様な価値を尊重する姿勢 14.看護学発展への主体的探求姿勢		
2. 加齢に伴う身体的・心理的・社会的な特性について説明できる					
3. 老年看護の役割・特徴および活用できる諸理論について理解できる					
4. 高齢者に関わる保健医療福祉の変遷とその背景について理解できる					
5. 老年看護における尊厳への配慮や倫理的課題について考えることができる					
6. 高齢者に関心を寄せ、老年看護の学修に主体的に取り組むことができる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学修課題)	取組時間
1	加齢と老化に伴う高齢者の心身の変化/発達課題	講義	中村	テキスト第 1 章,A 復習	4 時間
2	加齢と老化に伴う高齢者の心身の変化/高齢者の疾病の特徴	講義	中村	テキスト第 1 章,B 復習	4 時間
3	老年看護の目標・役割・特徴 /老年看護に役立つ諸理論・概念	講義	中村	テキスト第 3 章 復習	4 時間
4	高齢者に関わる保健医療福祉の変遷とその背景	GW	中村	テキスト第 2 章,B 予習	4 時間
5	高齢者の暮らし/社会参加/超高齢社会の現状と課題	GW	中村	テキスト第 2 章,A,第 5 章 F,予習	4 時間
6	高齢者に対する差別、倫理的課題 /高齢者の権利擁護のための制度	GW	中村	テキスト第 2 章,C 予習	4 時間
7	高齢者の生活史、価値観、健康歴などについてインタビュー	演習	中村	テキスト第 2 章,A 予習	4 時間
8	老いを生きるということ/まとめ	講義	中村	テキスト第 1 章,A 復習	2 時間
成績評価方法・基準	ワークシート 60%, グループワーク・演習への取り組み 20%, 意欲・態度 20% 授業の出席状況は、毎時、出席/振り返りシートで確認します。				
課題に対するフィードバック	ワークシートは、採点后返却いたします。中間、最終などにルーブリック自己評価をして頂きます。				
教科書	中島紀恵子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院				
参考書・参考文献	正木治恵他「老年看護学概論」老いを生きるを支えることは、南江堂 亀井智子他「老年看護学概論 老年保健」メジカルフレンド社 太田喜久子他「老年看護学 高齢者の健康生活を支える看護」医歯薬出版株式会社				
オフィスアワー 学修相談 メッセージ その他	オフィスアワー：毎週（月）16:30-17:30，6 号館 2 階 625 研究室、内線 217，Mail:office365 を利用可 学修相談は随時受け付けます。 ワークシート課題については、各時間の予習、復習に活用しましょう。グループワークには予習をし、主体的に参加しましょう。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	臨床基礎技術論Ⅱ	科目コード	BSNNCP201	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	小浜さつき	担当者	小浜さつき、秦朝子、石本祥子、谷口あけみ、松野史他		
授業の概要（授業の目的）					
病歴聴取の概要を理解し、フィジカルアセスメントの基本技術である問診・視診・聴診・触診・打診の技術、及び、基本的ニードを充足するためのケア技術について学ぶ。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 病歴聴取の概要を理解し、問診技術について理解できる。				3. 看護実践知識	
2. フィジカルアセスメントのための基本技術である視診・聴診・触診・打診技術について理解できる。				8. 看護実践技術	
3. 基本的ニードを充足するためのケア技術について理解できる。				9. 科学的根拠に基づく看護	
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	病歴聴取のための問診	講義	小浜	教科書①第2部6章、教科書②p3-10を読んでおく	4 時間
2	フィジカルアセスメントの基本技術 視診・聴診・触診・打診	講義	小浜	教科書①第2部6章、教科書②p3-10を読んでおく 配布資料・Web class の復習	4 時間
3	人間の基本的ニードのためのケア： 酸素供給	講義	秦	教科書①第28章を読んでおく 配布資料・Web class の復習	4 時間
4	人間の基本的ニードのためのケア：栄養	講義	小浜	教科書①第31章を読んでおく 配布資料・Web class の復習	4 時間
5	人間の基本的ニードのためのケア：排泄	講義	石本	教科書①第32章、33章を読んでおく 配布資料・Web class の復習	4 時間
6	人間の基本的ニードのためのケア： 活動と休息	講義	小浜	教科書①第25章、34章を読んでおく 配布資料・Web class の復習	4 時間
7	人間の基本的ニードのためのケア：清潔	講義	松野	教科書①第27章を読んでおく 配布資料・Web class の復習	4 時間
8	人間の基本的ニードのためのケア： 安全、安楽	講義	谷口	教科書①第26章、30章を読んでおく 配布資料・Web class の復習	4 時間
成績評価方法・基準		①定期試験（90 分）80％ ②小テスト（Webclass）20％ 各講義時間後に、Webclass に小テストを掲載します。指定された期日までに回答して下さい。			
課題に対するフィードバック		回答いただいた小テストについては後日 Webclass を用いて、正解・解説を公表します。 定期試験に関しては、後日解説を公表します。			
教科書		①Patricia A.Potter, Ann Griffin Perry 著、井部俊子監修：看護の基礎 実践に不可欠な知識と技術、2007. ②Lynn S. Bickley 著、福井次矢、井部俊子監修：Bates’ Guide to Physical Examination and History Taking.			
参考書・参考文献		任和子他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(3) 基礎看護技術Ⅱ（第17 版）、医学書院、2017.			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：小浜さつき（2 号館 1 階、222 研究室）、火曜日 16：30－17：30。 学習相談は随時受け付けます。 本科目の履修要件は、看護学総論の試験に合格し、臨床看護学概論、看護理論学、臨床基礎技術論Ⅰ、スキルラボ基礎レベルⅠの単位を修得しているものとする。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	スキルラボ基礎レベル 2	科目コード	BSNNCP202	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	演習
責任者	小浜さつき	担当者	小浜さつき、秦朝子、石本祥子、谷口あけみ、赤坂天貴子、松野史他		
授業の概要（授業の目的）					
病歴聴取の概要を理解し、問診の技術および基本的ニードを充足するためのケア技術を習得する。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 病歴聴取の概要を理解し、問診技術を習得できる。				3. 看護実践知識、8. 看護実践技術	
2. 基本的ニードを充足するためのケア技術を習得できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	病歴聴取のための問診	実技 討論	小浜他	臨床基礎技術論Ⅱの講義第 1 回・第 2 回を復習し、問診のスキルラボに取り組む。スキルラボでの技術練習を繰り返し行う。	4 時間
2	人間の基本的ニードのためのケア：栄養 （事例：ベッド上での食事介助・口腔ケア）	実技 討論	小浜 谷口 他	臨床基礎看護学技術Ⅱの講義第 4 回を復習し、食事介助・口腔ケアのスキルラボに取り組む。スキルラボでの技術練習を繰り返し行う。	4 時間
3					
4	人間の基本的ニードのためのケア：活動と休息 （事例：ベッド上・車いすでの移動の援助）	実技 討論	秦 赤坂他	臨床基礎技術論Ⅱの講義第 6 回を復習し、スキルラボに取り組む。スキルラボでの技術練習を繰り返し行う。	4 時間
5	人間の基本的ニードのためのケア：排泄 （事例：ベッド上での排泄の援助）	実技 討論	石本他	臨床基礎技術論Ⅱの講義第 5 回を復習し、スキルラボに取り組む。スキルラボでの技術練習を繰り返し行う。	4 時間
6					4 時間
7	人間の基本的ニードのためのケア： 安静を要する患者の清潔援助	実技 討論	松野 小浜他	臨床基礎技術論Ⅱの講義第 7 回を復習し、スキルラボに取り組む。スキルラボでの技術練習を繰り返し行う。	4 時間
8	事例：清拭・シーツ交換				4 時間
成績評価方法・基準	技術試験 100% 技術試験の日程は、別途提示します。				
課題に対するフィードバック	スキルラボの事前課題については、各担当教員がコメントを記載した後返却します。 技術試験については、その都度結果をフィードバックします。				
教科書	・Patricia A.Potter, Ann Griffin Perry 著、井部俊子監修：看護の基礎 実践に不可欠な知識と技術 ・Lynn S. Bickley 著、福井次矢、井部俊子監修：Bates' Guide to Physical Examination and History Taking.				
参考書・参考文献	任和子 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(3) 基礎看護技術Ⅱ（第 1 7 版）				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	オフィスアワー：小浜さつき（2 号館 1 階、222 研究室）、火曜日 16：30－17：30。 学習相談は随時受け付けます。また、時間外スキルラボの予約方法については、授業時間内に別途お知らせします。 本科目の履修要件は、看護学総論の試験に合格し、臨床看護学概論、看護理論学、臨床基礎技術論Ⅰ、スキルラボ基礎レベルⅠの単位を修得し、臨床基礎技術論Ⅱを受講し、学習目標に到達する見込みのあるものとする。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	臨床看護診断学	科目コード	BSNNCP203	開設期	2 年前期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	6 0 時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、宮林郁子、崎田マユミ、鶴田明美、近末清美、小浜さつき、秦朝子、石本祥子、他		
授業の概要（授業の目的）					
看護診断は、臨床看護実践において看護師がクリティカルに思考した判断の結果である。本講義では、看護診断の歴史、概念を理解した上、ロイ適応看護モデルに基づき看護診断までのプロセスと適切な看護診断を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 看護診断の歴史、概念を説明できる。			3. 看護実践知識、4. 論理的・科学的問題発見力、 5. 問題解決判断力		
2. ロイ適応看護モデルの生理的様式・自己概念様式・役割機能様式・相互依存様式における看護診断までのプロセスと看護診断カテゴリーについて述べる事が出来る。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	米国における看護診断の歴史と看護診断の概念	講義	宮林	教科書①の第 2 部、看護診断を事前に読んで講義に参加すること。	1 時間
2	ロイ適応看護モデルに基づく看護過程	講義	日高	教科書②の第 2 章～第 4 章を事前に読んで講義に参加すること	1 時間
3	酸素摂取における看護診断①	講義	鶴田	教科書②の第 5 章、酸素摂取	1 時間
4	酸素摂取における看護診断②	講義	鶴田	教科書②の第 5 章、酸素摂取 Case Study①	1 時間
5	酸素摂取における看護診断③	講義	鶴田	教科書②の第 5 章、酸素摂取 Case Study①	1 時間
6	栄養における看護診断①	講義	石本	教科書②の第 6 章、栄養 Case Study②	1 時間
7	栄養における看護診断②	講義	石本	教科書②の第 6 章、栄養 Case Study②	1 時間
8	排泄における看護診断①	講義	石本	教科書②の第 7 章、排泄 Case Study③	1 時間
9	排泄における看護診断①	講義	石本	教科書②の第 7 章、排泄 Case Study③	1 時間
10	活動と休息における看護診断①	講義	秦	教科書②の第 8 章、活動と休息	1 時間
11	活動と休息における看護診断②	講義	秦	教科書②の第 8 章、活動と休息 Case Study④	1 時間
12	活動と休息における看護診断③	講義	秦	教科書②の第 8 章、活動と休息 Case Study④	1 時間
13	防衛における看護診断①	講義	小浜	教科書②の第 9 章、防衛 Case Study⑤	1 時間
14	防衛における看護診断②	講義	小浜	教科書②の第 9 章、防衛 Case Study⑤	1 時間
15	感覚における看護診断①	講義	小浜	教科書②の第 10 章、感覚 Case Study⑥	1 時間
16	感覚における看護診断②	講義	小浜	教科書②の第 10 章、感覚 Case Study⑥	1 時間
17	体液、電解質・酸・塩基平衡における看護診断①	講義	崎田	教科書②の第 11 章、体液、電解質・酸・塩基平衡	1 時間
18	体液、電解質・酸・塩基平衡における看護診断②	講義	崎田	教科書②の第 11 章、体液、電解質・酸・塩基平衡 Case Study⑦	1 時間
19	体液、電解質・酸・塩基平衡における看護診断③	講義	崎田	教科書②の第 11 章、体液、電解質・酸・塩基平衡 Case Study⑦	1 時間
20	内分泌機能における看護診断①	講義	近末	教科書②の第 13 章、内分泌機能	1 時間
21	内分泌機能における看護診断②	講義	近末	教科書②の第 13 章、内分泌機能 Case Study⑧	1 時間
22	内分泌機能における看護診断③	講義	近末	教科書②の第 13 章、内分泌機能 Case Study⑧	1 時間
23	神経機能における看護診断①	講義	日高	教科書②の第 12 章、神経機能	1 時間
24	神経機能における看護診断②	講義	日高	教科書②の第 12 章、神経機能 Case Study⑨	1 時間
25	神経機能における看護診断③	講義	日高	教科書②の第 12 章、神経機能 Case Study⑨	1 時間
26	自己概念様式における看護診断	講義	日高	教科書②の第 14 章、自己概念様式 Case study⑩	1 時間
27	役割機能様式における看護診断	講義	日高	教科書②の第 15 章、役割機能様式 Case Study⑪	1 時間
28	相互依存様式における看護診断	講義	日高	教科書②の第 16 章相互依存様式 Case Study⑫	1 時間
29	まとめ（4 つの適応様式の Case Study 他）	講義	日高	教科書② Case Study⑬	1 時間
30	まとめ（4 つの適応様式の Case Study 他）	講義	日高	教科書② Case Study⑬	1 時間

成績評価方法・基準	定期試験 80%、レポート 20%
課題に対するフィードバック	講義で実施した Case study については各担当教員が返却します。
教科書	① 監訳 日本看護診断学会, NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020. 医学書院、2018 ② 松木光子監訳, ザ・ロイ適応看護モデル第 2 版, 医学書院, 2010. ③ 病気がみえるシリーズ: 1 消化器、2 循環器、3 糖尿病・代謝・内分泌、4 呼吸器、7 脳・神経、8 腎・泌尿器、11 運動器・整形外科、医療情報科学研究所編集、メディックメディア 注意) 上記教科書は基盤臨床看護学領域の他の科目および臨床実習においても使用します
参考書・参考文献	特になし
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	日高艶子（7 号館 3 階 731 研究室）、オフィスアワー：金曜日 16：00-17：00 本科目の受講要件は、看護学総論、臨床看護学概論、臨床看護理論学、臨床基礎技術論Ⅰ、スキルラボ基礎レベル 1 の単位を修得し、臨床基礎技術論Ⅱ、スキルラボ基礎レベル 2 を受講し、学習目標に到達する見込みのある者とする。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。

開設科目名	スキルラボ臨床レベル 1	科目コード	BSNNCP204	開設期	2 年前期
単位数 (履修区分)	1 単位 (必修)	時間数	30 時間	授業区分	演習
責任者	秦朝子	担当者	秦朝子、日高艶子、崎田マユミ、鶴田明美、近末清美、小浜さつき、石本祥子、谷口あけみ、赤坂天貴子、松野史、他		
授業の概要 (授業の目的)					
臨床看護診断学で学習したロイ適応看護モデルの生理的様式における看護診断のためのフィジカルアセスメント (胸部、腹部、骨・関節、皮膚・リンパ、感覚・神経) の技術を修得する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー (学位授与の方針) との関連		
1) フィジカルアセスメントの基本技術 (視診・触診・聴診・打診) を実施できる。			3. 看護実践知識 4. 論理的・科学的問題発見力 5. 問題解決判断力 ◎8. 看護実践技術 9. 科学的根拠に基づく看護		
2) フィジカルアセスメントに必要な身体各部位の名称やランドマークを述べることができる。					
3) 胸部、腹部、骨・関節、皮膚・リンパ、感覚・神経のフィジカルアセスメントで確認すべき項目を列挙できる。					
4) 胸部、腹部、骨・関節、皮膚・リンパ、感覚・神経のフィジカルアセスメントを対象者の安全・安楽に配慮し実施できる。					
授業計画 (授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習 (学習課題)	取組時間
1	フィジカルアセスメントの基本技術	実技	秦	臨床基礎技術論Ⅱ「フィジカルアセスメントの基本技術」の資料・教科書を読んでおく	1 時間
2	視診・触診・聴診・打診	実技		教科書や配布資料を用いて演習内容を復習する	1 時間
3	胸部のフィジカルアセスメント①	実技	松野	教科書① (第 8・9 章) を読んでおく、胸部の事前課題をする	1 時間
4	胸部のフィジカルアセスメント② Skills Lab.	実技		演習内容の復習	1 時間
5	腹部のフィジカルアセスメント①	実技	石本	教科書① (第 11 章) を読んでおく、腹部の事前課題をする	1 時間
6	腹部のフィジカルアセスメント② Skills Lab.	実技		演習内容の復習	1 時間
7	骨・関節のフィジカルアセスメント①	実技	赤坂	教科書① (第 16 章) を読んでおく、骨・関節の事前課題をする	1 時間
8	骨・関節のフィジカルアセスメント② Skills Lab.	実技		演習内容の復習	1 時間
9	皮膚・リンパのフィジカルアセスメント①	実技	谷口	教科書① (第 6・12 章) を読んでおく、皮膚・リンパの事前課題をする	1 時間
10	皮膚・リンパのフィジカルアセスメント② Skills Lab	実技		演習内容の復習	1 時間
11	感覚・神経のフィジカルアセスメント①	実技	小浜 日高	教科書① (第 7・17 章) を読んでおく、感覚・神経の事前課題をする	1 時間
12	感覚・神経のフィジカルアセスメント② Skills Lab	実技		演習内容の復習	1 時間
13	技術試験① (胸部), フィードバック	実技	松野他	授業外ラボ等で繰り返し練習する	1 時間
14	技術試験② (腹部), フィードバック	実技	石本他	授業外ラボ等で繰り返し練習する	1 時間
15	技術試験③ (骨・関節), フィードバック	実技	赤坂他	授業外ラボ等で繰り返し練習する	1 時間
16	技術試験④ (皮膚・リンパ), フィードバック	実技	谷口他	授業外ラボ等で繰り返し練習する	1 時間
17	技術試験⑤ (感覚・神経), フィードバック	実技	小浜他	授業外ラボ等で繰り返し練習する	1 時間
成績評価方法・基準	技術試験 100%				
課題に対するフィードバック	＊ 技術試験の結果・コメントはその日のうちにお知らせします。不合格の方には後日再試験を行います。				
教科書	① Lynn S.Bickley 他著, 福井次矢他監修: ベイツ診察法 第 2 版. メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015.				
参考書・参考文献	Lynn S.Bickley 他著, 福井次矢他監修: ベイツ診察法ポケットガイド 第 3 版. メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015.				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	秦朝子 (7 号館 4 階 741 研究室) オフィスアワー: 水曜 12:10~13:00 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。メールアドレス: hata@stmaryacjp.onmicrosoft.com フィジカルアセスメント技術の修得には解剖生理の理解と繰り返しの練習が必要です。講義時間外の時間も活用して確実な技術を身につけて下さい。 その他: この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	臨床看護学方法論Ⅰ	科目コード	BSNNCP205	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	鶴田明美	担当者	鶴田明美、小浜さつき、秦朝子、石本祥子、谷口あけみ、赤坂天貴子、松野史、尾形由貴子（ゲスト）、他		
授業の概要（授業の目的）					
クリティカルな状態にある成人期の患者及び家族を対象にロイ適応看護モデルを適用し看護過程を展開する能力を養う。 具体的には、看護過程展開のための基本的事項として、クリティカルケア看護と周術期看護の特性および患者・家族の特徴を学ぶ。 さらに、ケース・スタディを通して酸素摂取、栄養と排泄、活動と休息、防衛、自己概念に問題を持つ患者の看護過程の展開について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）クリティカルケア看護の特性と患者・家族の特徴を理解できる			◎3. 看護実践知識 ◎4. 論理的・科学的問題発見力 5. 問題解決判断力 8. 看護実践技術 9. 科学的根拠に基づく看護		
2）周術期看護の特性と周手術期にある患者・家族の特徴を理解できる					
3）クリティカルな状態にある患者の行動と刺激のアセスメントを記述できる					
4）クリティカルな状態にある患者の看護診断を抽出できる					
5）看護診断に沿って対象に応じた看護目標を設定できる					
6）刺激に対する看護介入計画を立案できる					
7）看護介入の評価の視点を考察することできる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	クリティカルケア看護の特性と患者・家族の特徴	講義	鶴田	講義資料を配布	2 時間
2	周術期看護の特性と患者・家族の特徴	講義	鶴田	講義資料を配布	2 時間
3	在院日数短縮に伴う継続看護	講義	谷口	講義資料配布	2 時間
4	防衛に問題を持つ患者のケース・スタディ	講義・討論	松野	教科書①（第 9 章）を読んでおく	2 時間
5	酸素摂取（循環）に問題を持つ患者のケース・スタディ	講義・討論	鶴田	教科書①（第 5 章）を読んでおく	4 時間
6	酸素摂取（循環）に問題を持つ患者のケース・スタディ	GW・討論	鶴田	ケースについてまとめる。教科書②を活用する	4 時間
7	酸素摂取（循環）に問題を持つ患者のケース・スタディ	討論	鶴田	ケースについてまとめる。教科書②を活用する	2 時間
8	活動と休息に問題を持つ患者のケース・スタディ	講義	秦	教科書①（第 8 章）を読んでおく	4 時間
9	活動と休息に問題を持つ患者のケース・スタディ	討論	秦	ケースについてまとめる。教科書②を活用する	4 時間
10	栄養に問題を持つ患者のケース・スタディ	講義	石本	教科書①（第 6 章）を読んでおく	2 時間
11	栄養に問題を持つ患者のケース・スタディ	討論	石本	ケースについてまとめる。教科書②を活用する	4 時間
12	排泄に問題を持つ患者のケース・スタディ	講義	赤坂	教科書①（第 7 章）を読んでおく	2 時間
13	排泄に問題を持つ患者のケース・スタディ	講義	尾形	ストマを造設した患者の看護について予習する	2 時間
14	手術に伴う自己概念に問題を持つ患者のケース・スタディ	講義	小浜	教科書①（第 14 章）を読んでおく	2 時間
15	手術に伴う自己概念に問題を持つ患者のケース・スタディ	討論	小浜	ケースについてまとめる。教科書②を活用する	4 時間
成績評価方法・基準		・定期試験 100%（規定の授業出席日数を満たさない場合は定期試験受験資格を認めない）			
課題に対するフィードバック		・ケース・スタディは各担当教員から事前に提示されます。内容は講義中にフィードバックをします。			
教科書		① シスター・カリス・ロイ（2009）/松木光子監訳(2010）：ザ・ロイ適応看護モデル，第 2 版，医学書院 ② 監訳日本看護診断学会，N A N D A - I 看護診断 定義と分類 2018-2020，医学書院，2018.			
参考書・参考文献		・「病気が見える」シリーズ ・各担当教員から配布される講義資料			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		＊ オフィスアワー：鶴田明美（2 号館 1 階 223 号室）火曜 16:00～17:00 事前に連絡をしてください ・授業の日程と担当者は変更する可能性があります。授業計画の詳細は第 1 回の授業で説明します ・本科目は、担当教員による講義の他、必要に応じて個人ワーク、グループワーク、討論などの方法を用いて進めます その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	臨床看護学方法論Ⅱ	科目コード	BSNNCP206	開設期	2 年 後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	崎田 マユミ	担当者	崎田マユミ、近末清美、秦朝子、小浜さつき、谷口あけみ、松野 史、他		
授業の概要（授業の目的）					
慢性疾患、慢性の機能障害をもつ成人期の患者にロイ適応看護モデルを適用し看護過程を展開する能力を養う。 具体的には、慢性疾患、慢性の機能障害をもつ患者と家族の特性と慢性期の看護についてアセスメント、看護診断、介入方法(看護方法)を学び、ケース・スタディを通して看護過程の展開について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1.慢性疾患、慢性の機能障害をもつ成人期の患者と家族の特性を理解できる			◎3. 看護実践知識		
2.基本的ニード及び調節器に障害をもつ慢性期の看護について、アセスメント、看護診断を学び理解できる			4. 論理的・科学的・問題発見力		
3.基本的ニード及び調節器に障害をもつ慢性期の看護について介入方法を学び理解できる			5. 問題解決判断力		
4.提示されたケース・スタディに取り組み、看護過程の展開について理解できる			◎8. 看護実践技術		
			9. 科学的根拠に基づく看護		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	慢性疾患、慢性の機能障害をもつ成人期の患者の特性、慢性期の看護に活用できる理論と活用方法	講義	崎田	教科書①(第Ⅰ章、第Ⅱ章、第Ⅲ章-1)を読んでおく。	2 時間
2	慢性疾患患者と家族の地域療養生活を支える看護支援	講義	谷口	教科書①(第Ⅰ章-3、第Ⅰ章-4、第Ⅲ章-2、第Ⅲ章-3、第Ⅳ章-4、第Ⅴ章 6-4、第Ⅴ章 6-5)を読んでおく。	2 時間
3	酸素摂取（呼吸）に問題を持つ患者と看護方法	講義	秦	教科書②（第 5 章 ）を読んでおく。 教科書①（第Ⅴ章-1-1～第Ⅴ章-1-3）を読んでおく。	2 時間
4	酸素摂取（呼吸）に問題を持つ患者と看護方法	講義	秦	〃	2 時間
5	ケース・スタディ①	講義 討論	秦	提示されたケース・スタディに取り組み指定された方法にて提出する。	2 時間
6	内分泌機能に問題を持つ患者と看護方法	講義	近末	教科書②（第 13 章 ）を読んでおく。教科書①（第Ⅳ章-1、第Ⅴ章-4-1～第Ⅴ章-4-3）を読んでおく。	2 時間
7	内分泌機能に問題を持つ患者と看護方法	講義	近末 (GS)	〃	2 時間
8	ケース・スタディ③	講義 討論	近末	提示されたケース・スタディに取り組み指定された方法にて提出する。	2 時間
9	体液電解質、酸・塩基平衡に問題を持つ患者と看護方法	講義	崎田	教科書②（第 11 章 ）を読んでおく。教科書①（第Ⅳ章-2、第Ⅴ章-5-1～第Ⅴ章-5-2）を読んでおく。	2 時間
10	体液電解質、酸・塩基平衡に問題を持つ患者と看護方法	講義	崎田	〃	2 時間
11	ケース・スタディ②	講義 討論	崎田	提示されたケース・スタディに取り組み指定された方法にて提出する。	2 時間
12	化学療法・放射線療法を受ける患者と看護方法	講義	松野	教科書①(第Ⅳ章-5～第Ⅳ章-9)を読んでおく。	2 時間
13	感覚・神経機能に問題を持つ患者と看護方法	講義	小浜	教科書②（第 10 章、12 章 ）を読んでおく。	2 時間
14	感覚・神経機能に問題を持つ患者と看護方法	講義	小浜	〃	2 時間
15	ケース・スタディ④	講義 討論	小浜	提示されたケース・スタディに取り組み指定された方法にて提出する。	2 時間
成績評価方法・基準		定期試験 100%			
課題に対するフィードバック		ケース・スタディは、プレゼンテーション後にコメントを伝えフィードバックします。			
教科書		①鈴木久美他：成人看護学 慢性期看護改訂第 3 版，2019，南江堂 ②シスター・カリスタ・ロイ／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第 2 版，医学書院 ③監訳 日本看護診断学会，NANDA-Ⅰ 看護診断定義と分類，2018-2020，医学書院 ・各担当教員が必要に応じて講義資料を配布します。			
参考書・参考文献		・黒江ゆり子監訳 クロニックイルネス，医学書院，2007。 ・『病気がみえる』シリーズ『系統看護学講座，成人看護学』シリーズ			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		オフィスアワー：崎田マユミ（7 号館 3 階 733 号室）；火曜 16：30～17：30 ※上記時間以外は事前に予約をしてください。メールアドレス：sakita@stmaryacjp.onmicrospft.com 慢性期看護の理解を深めるために、解剖生理、病態等の復習を十分に行なったうえで授業に臨んで下さい。事前課題にしっかりと取り組み、慢性疾患、慢性の機能障害を持つ患者と家族への看護の理解を深めましょう。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	臨床看護学方法論演習	科目コード	BSNNCP207	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	2 単位（必修）	時間数	45 時間	授業区分	講義・演習
責任者	小浜さつき	担当者	小浜さつき、日高艶子、崎田マユミ、鶴田明美、近末清美、秦朝子、石本祥子、谷口あけみ、赤坂天貴子、（塩汲望美）、松野史、他		
授業の概要（授業の目的）					
慢性疾患，急性疾患を持つ成人期患者の事例を基に，ロイ適応看護モデルを用い看護過程を展開する。さらに，看護過程を展開するために必要なクリティカルシンキング及び看護技術を修得する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）提示された事例の行動のアセスメント，刺激のアセスメント，看護診断，目標，介入計画を立案できる。			3．看護実践知識、8．看護実践技術、9．科学的根拠に基づく看護		
2）提示された事例についてクリティカルに思考できる。					
3）看護介入のための看護技術を実施できる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス ロイ適応看護モデルを用いた看護過程の展開	講義	小浜他	臨床看護診断学・臨床看護方法論Ⅰ・Ⅱで使用したテキストおよび資料を復習しておく	4 時間
2	看護過程の展開：事例 1 1 回	講義・討論	各教員	看護過程の展開は、急性期と慢性期の 2 事例について展開する。事例は、循環器・呼吸器・運動器・消化器・脳神経などの複数の領域から提示される。 各事例について、ロイ適応看護モデルに基づき、行動のアセスメント・刺激のセスメント・看護診断・目標設定・介入計画までの事例展開を行う。 ※教科書①・②は各事例展開で使用しますので、毎回の授業に持参すること。	4 時間
3	看護過程の展開：事例 1 2 回	講義・討論	各教員		4 時間
4	看護過程の展開：事例 1 3 回	講義・討論	各教員		4 時間
5	看護過程の展開：事例 1 4 回	講義・討論	各教員		4 時間
6	看護過程の展開：事例 1 5 回	講義・討論	各教員		4 時間
7	看護過程の展開：事例 1 6 回	講義・討論	各教員		4 時間
8	看護過程の展開：事例 2 1 回	講義・討論	各教員		4 時間
9	看護過程の展開：事例 2 2 回	講義・討論	各教員		4 時間
10	看護過程の展開：事例 2 3 回	講義・討論	各教員		4 時間
11	看護過程の展開：事例 2 4 回	講義・討論	各教員		4 時間
12	看護過程の展開：事例 2 5 回	講義・討論	各教員		4 時間
13	看護過程の展開：事例 2 6 回	講義・討論	各教員		4 時間
14	清潔に関する看護技術演習	デモンストレーション	秦・近末他	清潔に関する援助技術、活動と休息、防衛のアセスメントと介入技術について復習しておく。 事前に提示された課題に取り組む	4 時間
15	（事例：洗髪・足病変を有する患者のアセスメントとフットケア）	討論・実技			
16	防衛に関する看護技術演習	デモンストレーション	鶴田、谷口他	防衛に関する援助技術（創傷処置、清潔操作、滅菌物の取り扱い）について復習しておく。 事前に提示された課題に取り組む。	4 時間
17	（事例：開腹手術を受けた患者のアセスメントと創傷処置・ドレーン管理等）	討論・実技			
18	体液・電解質に関する看護技術演習	デモンストレーション	崎田、赤坂、松野他	体液・電解質に関する援助技術（体液電解質・酸塩平衡のアセスメントと介入技術）を復習しておく 事前に提示された課題に取り組む。	4 時間
19	（事例：発熱による脱水状態にある患者のアセスメントと採血・筋肉内注射）	討論・実技			
20	栄養に関する看護技術演習	デモンストレーション	石本、塩汲他	栄養に関する援助技術（栄養のアセスメント、経管栄養法）について復習しておく 事前に提示された課題に取り組む。	4 時間
21	（事例：経口からの摂取が困難な患者のアセスメントと経管栄養法）	討論・実技			
22	移動に関する看護技術演習	デモンストレーション	日高、小浜他	活動と休息、神経機能に関するアセスメントと援助技術について復習しておく 事前に提示された課題に取り組む。	4 時間
23	（事例：片麻痺で移動が困難な患者のアセスメントとトランスファー）	討論・実技			
成績評価方法・基準		① 課題レポート（2 つの事例の看護過程を展開し、指定期日までに記録物として提出する）70％ ② 技術試験 30％（技術試験の内容・日程は、授業過程途中で提示・説明します） ＊授業は上記に示した内容に沿って行いますが、授業の日程についてはこの限りではありません。 授業の具体的な内容・日程は、第 1 回授業で別途提示・説明します。			

課題に対するフィードバック	看護過程の展開で行った事例展開については、各担当教員が演習終了後に返却します。 看護技術演習で取り組んだ事前課題についても、各担当教員が返却します。 技術試験については、当日試験終了時に結果をフィードバックします。
教科書	① ロイ適応看護モデル 第2版、医学書院 ② NANDA-I 看護診断定義と分類②018-2020、医学書院。
参考書・参考文献	臨床病態学Ⅰ～Ⅳ，臨床看護学概論，臨床看護理論学，臨床看護診断学，臨床看護方法論Ⅰ・Ⅱで使用了テキスト及び配布資料
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	* オフィスアワー：小浜さつき（2号館1階 L222 研究室）火曜 16:30～17:30 講義・演習に関する質問は、随時受け付けます。事例展開については、各グループの担当教員が学修を支援します。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です

開設科目名	臨床基礎看護学実習Ⅰ	科目コード	BSNNCP208	開設期	2年前期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	45時間	授業区分	実習
責任者	石本祥子	担当者	石本祥子、日高艶子、崎田マユミ、鶴田明美、近末清美、小浜さつき、秦朝子、谷口あけみ、赤坂天貴子、松野史、他		
授業の概要（授業の目的）					
成人期の患者を受け持ち、ロイ適応看護モデルに基づき、行動のアセスメント、行動に影響を及ぼしている刺激について検討し、看護診断を特定する。さらに、患者や家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 観察や測定の技術を用い、必要な情報を患者から系統的に収集できる。			3.看護実践知識 4.論理的・科学的問題発見力 5.問題解決判断力 6.コミュニケーションスキル ◎8.看護実践技術		
2. 適応・非効果的行動の分類が出来る。					
3. 行動に影響を及ぼしている全ての刺激を抽出できる。					
4. 刺激を焦点刺激・関連刺激・残存刺激に分類できる。					
5. 看護診断を考えることが出来る。					
6. 最も重視した看護専門職として期待される意識や態度について述べる事が出来る。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Nursing Clinical Handbook （実習ハンドブック）参照	実習	各指導教員	実習ハンドブック、オリエンテーション資料を読んでおく 患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習 ロイ適応看護モデルの復習 観察や測定の技術の復習 その他、関連科目の復習や各自の不足する内容を学習する	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
成績評価方法・基準		臨床基礎看護学実習Ⅰ評価表に基づく評価 100%			
課題に対するフィードバック		実習開始前から実習終了後まで学習についてのアドバイスを適宜行います。			
教科書		・シスター・カリスタ・ロイ/松本光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル第2版,医学書院、2010. ・T.ヘザー・ハードマン/上鶴重美：NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020 原著第11版,医学書院,2018.			
参考書・参考文献		病気がみえるシリーズ			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		実習全般に関するお問い合わせ 石本祥子（2号館1階224研究室）オフィスアワー：水曜 12:10～13:10. 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。メールアドレス：ishimoto@stmaryacjp.onmicrosoft.com 各実習病棟での学習に関するお問い合わせは、実習担当教員にご連絡下さい。 ICTの活用：実習に必要な記録用紙はwebclassにあります。各自で準備をお願いします。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	臨床基礎看護学実習Ⅱ	科目コード	BSNNCP209	開設期	2年後期
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	90時間	授業区分	実習
責任者	秦朝子	担当者	秦朝子、日高艶子、崎田マユミ、鶴田明美、近末清美、小浜さつき、石本祥子、谷口あけみ、赤坂天貴子、塩波望美、松野史、他		
授業の概要（授業の目的）					
成人期または老年期の患者を受持ち、ロイ適応看護モデルに基づき看護過程を展開する。さらに、患者と家族、医療関係者との関係を通して看護専門職としての意識や態度について学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 観察や測定の技術を用い、必要な情報を患者から系統的に収集できる。			3. 看護実践知識 4. 論理的・科学的問題発見力 ◎5. 問題解決判断力 7. 情報リテラシー ◎8. 看護実践技術 9. 科学的根拠に基づく看護 10. ケアリングの実践 11. 多様な価値を尊重する姿勢		
2) 適応・非効果的行動の分類ができる。					
3) 行動に影響を及ぼしている全ての刺激を抽出できる。					
4) 刺激を焦点刺激、関連刺激、残存刺激に分類できる。					
5) 看護診断をリストアップできる。					
6) 看護診断の優先順位を考えることができる。					
7) 看護診断に沿って、対象に応じた目標設定ができる。					
8) 刺激に介入するための看護計画を立案し介入できる。					
9) 実施した看護の評価ができる					
10) 看護専門職として期待される意識や態度について述べることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Nursing Clinical Practicum Hand Book（実習ハンドブック） 参照	実習	各指導教員	実習ハンドブックおよびオリエンテーション資料を読んでおく 患者の疾患・病態、検査・治療・薬剤に関する学習 ロイ適応看護モデルの復習 観察や測定の技術の復習 その他、各自の不足する内容を学習する	10時間以上
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
成績評価方法・基準	臨床基礎看護学実習Ⅱの評価表に基づく評価 100%				
課題に対するフィードバック	実習中・実習終了時に、実習記録および実習達成度について個別にコメントし、フィードバックを行う。				
教科書	・シスター・カリスト・ロイ著／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル，第2版，医学書院，2010。 ・T.ヘザー・ハードマン／上鶴重美：NANDA-Ⅰ看護診断 定義と分類 2018-2020，原著第11版，医学書院，2018。				
参考書・参考文献	・Lynn S. Bickley 他，福井次矢監修：バイツ診療法 ポケットガイド第3版，メディカル・サイエンス・インターナショナル，2015。 ・病気がみえるシリーズ				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	秦朝子（7号館4階741研究室） オフィスアワー： 水曜 12：10～13：00 上記時間帯以外に訪室したい場合は事前予約をしてください。 メールアドレス：hata@stmaryacjp.onmicrosoft.com 実習全般に関する問い合わせや相談は科目責任者、各実習病棟の実習に関する問い合わせ等は各指導教員にご連絡下さい。 実習担当教員は、実習オリエンテーションの際にお知らせします。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	精神看護学方法論Ⅰ	科目コード	BSNNCP210	開設期	2年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義・演習
責任者	谷多江子	担当者	谷多江子、眞崎直子、八谷美絵、他		
授業の概要（授業の目的）					
精神障がい者に関連する法律や制度を理解するとともに、地域精神保健活動の現状を知り、保健・医療・福祉を統合して看護を提供する視点を養う。また、精神医療福祉の現状や課題について自ら学修し、問題解決に向け思考を深める。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1) 心のはたらきについて説明できる。			3 看護実践知識		
2) 代表的な精神機能検査について説明できる。					
3) 精神医療に関する法律について説明できる。					
4) 基本的なコミュニケーション技術を身につけ利用することができる。			2 豊かな人間性の基礎 ◎8 看護実践技術		
5) 地域で生活する精神障がい者と接し、自分のイメージ、捉え方の変化に気づくことができる。			1 生命の価値・人間の尊厳 ◎2 豊かな人間性の基礎		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	心のはたらき：自我の防衛機制	講義・ワーク	谷	授業内容を復習する。	4時間
2	精神機能検査の理解と体験	講義・体験	谷	※課題は講義中に提示します	4時間
3	心の健康の維持	講義・体験	八谷	配布資料の復習をする。	4時間
4	精神医療に関する法律	講義	眞崎	テキスト 第Ⅳ章 1を読んでおく。	4時間
5	傾聴の体験とふり返り	講義・実技	谷	授業内容を復習する。	4時間
6	地域で生活する精神障がい者の理解(1)生活の現状	学外演習	谷、八谷	精神障がい者の生活の現状をまとめる。	2時間
7	地域で生活する精神障がい者の理解(2)生きにくさ	GW・講義	谷、八谷	配布資料の復習をする。	4時間
8	精神看護における看護理論	講義	谷	授業内容を復習する。	4時間
成績評価方法・基準		小テストおよび定期試験 60% クラス参加度 40%			
課題に対するフィードバック		講義中にフィードバックします。			
教科書		①精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種のつながり 南江堂 2015 ②精神看護学Ⅱ 臨床で活かすケア 南江堂 2015			
参考書・参考文献		特に指定しない			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		谷 多江子（6号館 622 研究室） オフィスアワー：月曜日 16:30～17:30 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	母性看護学方法論Ⅰ	科目コード	BSNNCP211	開設期	2 年 後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	桃井雅子	担当者	桃井雅子、川上桂子 他		
授業の概要（授業の目的）					
ウイメンズヘルス概論で女性看護学の基本的概念を理解した後に、周産期にある女性と胎児・新生児、家族の身体的および心理的・社会的な特徴・変化とその看護について学ぶ。また周産期の正常な経過からの逸脱予防と早期発見のための看護と、そこで展開されるチーム医療の意義・必要性を理解する。これらの学びを通して、女性を取り巻く社会変化に対応した母性看護のあり方を考察する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 周産期における看護の理念と特徴について、以下の内容を理解できる。 1) 対象者の生命力とセルフケアの力を尊重し、生かして健康を保持・増進するための看護 2) 正常からの逸脱を予防するための看護 3) 根拠に基づく看護 4) 対象者の意思決定を支える看護			1) 生命の価値・人間の尊厳 2) 豊かな人間性の基礎 11) 多様な価値を尊重する姿勢 14) 看護学発展への主体的探索姿勢		
2. 正常な妊娠期・分娩期・産褥期および胎児期・新生児期にある母子と家族の身体的・心理的・社会的な特徴・変化と、その看護について理解できる。また正常な経過からの逸脱予防と早期発見のための看護を理解する。周産期看護におけるチーム医療の意義と必要性を理解する。			3) 看護実践知識 4) 倫理的・科学的問題発見力 5) 問題解決判断力 7) 情報リテラシー		
3. 本科目を通して、女性を取り巻く社会変化に対応した母性看護のあり方を考察する。			13) 地域国際社会への貢献 14) 看護学発展への主体的探索姿勢		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	科目ガイダンス、周産期における看護について	講義	桃井	ウイメンズヘルス概論で学んだ、周産期看護の理念と特徴について復習しておく	1 時間
2	妊娠期① 妊娠の成立・維持、胎児の成長・発達	講義	桃井	<予習>	1 時間
3	妊娠期② 妊娠の成立・維持、胎児の成長・発達	講義	桃井	・教科書 第 1 章の該当箇所（授業内容を参照）を読んでおく	1 時間
4	妊娠期③ 妊娠期の身体的な特徴・変化と看護	講義	桃井	・事前課題に各自で取り組む	1 時間
5	妊娠期④ 妊娠期の身体的な特徴・変化と看護	講義	桃井	<復習> 授業内容の復習	1 時間
6	妊娠期⑤ 妊娠期の心理的・社会的な特徴・変化と看護	講義 グループワーク	桃井他		1 時間
7	分娩期① 分娩の定義・要素・経過と機序	講義	川上	<予習>	1 時間
8	分娩期② 分娩期の身体的な特徴・変化と看護	講義	川上	・教科書 第 2 章の該当箇所（授業内容を参照）を読む	1 時間
9	分娩期③ 分娩期の身体的な特徴・変化と看護	講義	川上	・事前課題に各自で取り組む	1 時間
10	分娩期④ 分娩期の心理的・社会的な特徴・変化と看護	講義	川上	<復習> 授業内容の復習	1 時間
11	産褥期① 産褥期の身体的な特徴・変化と看護	講義	桃井	<予習>	1 時間
12	産褥期② 産褥期の身体的な特徴・変化と看護	講義	桃井	・教科書 第 3 章の該当箇所（授業内容を参照）を読む	1 時間
13	産褥期③ 産褥期の身体的な特徴・変化と看護	講義	桃井	・事前課題に取り組む	1 時間
14	産褥期④ 産褥期の身体的な特徴・変化と看護	講義	桃井	<復習>	1 時間
15	産褥期⑤ 産褥期の心理的・社会的な特徴・変化と看護	講義 グループワーク	桃井他	授業内容の復習	1 時間
成績評価方法・基準		・筆記試験 100%			
課題に対するフィードバック		・フィードバックは、評価結果に応じて個別、あるいは Web 上で全員に対して実施する。			

教科書	有森直子編：母性看護学Ⅱ 周産期各論、医歯薬出版、最新版
参考書・参考文献	・小林康江、中込さと子他編：ナースing・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、メディカ出版、最新版 ・森恵美他：系統看護学講座 専門25 母性看護学2、医学書院、最新版 ・森恵美他編：助産師基礎教育テキスト 第4～6巻、日本看護協会出版会、最新版 ・仁志田博司：新生児学入門、医学書院、最新版 ・医学情報科学研究所編：病気が見える 産科、メディックメディア、最新版 ・森臨太郎他：ほんとうに確かなことから考える妊娠・出産の話、医学書院、最新版 * 他、各授業内容に応じて参考書・参考文献をご紹介します。
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	* オフィスアワー：水曜日 16:30～18:00（桃井雅子） * 学習相談：随時受け付けます。 * メッセージ：周産期にある女性と家族の持てる力（生命力、セルフケアの力）とはどのようなものか、また、その力を生かす看護とはどのようなものかについて、関心をもって学び、深く考える時としてください。また皆様方が、自らの力を活かして学ぶこと、新たなことを知ること・分かることの楽しさを、本科目の中で体験・実感して下さることを願っています。 * その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です

開設科目名	小児看護学方法論Ⅰ	科目コード	BSNNCP212	開設期	2年後期
単位数（履修区分）	1 単位（ 必修 ）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	大城知恵	担当者	大城知恵、大西哲郎、坂田友、原知子		
授業の概要（授業の目的）					
健康障害をもつ子どもと家族のアセスメントを行い、疾患や疾患の経過・症状・看護の知識を獲得する。また、小児看護の対象者をとりまく環境、社会制度や医療、施策を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1）成長・発達に応じたアセスメント方法を説明できる。			3.看護実践知識 4.論理的・科学的問題発見力 ◎5.問題解決判断力 ◎9.科学的根拠に基づく看護		
2）小児の看護場面を想定し、個人と個人をとりまく環境の相互作用を説明できる。					
3）子どもの生理的様式について、行動のアセスメント、刺激のアセスメントを述べることができる。					
4）子ども、家族のサポートするための法律や施策を述べることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	オリエンテーション、子どもの入院環境	講義	大城	1.教科書 3 章 1 を予習、2.教科書 2 章を予習	1 時間
2	乳児期・幼児期のヘルス・アセスメント	講義	大城	成長発達の復習、2.教科書 1.9 章 を予習	1 時間
3	学童期・思春期のヘルス・アセスメント	講義	大城	成長発達の復習、2.教科書 1.9 章 を予習	1 時間
4	防衛、体液・電解質・酸・塩基に問題をもつ子どもと家族の看護	講義	原	1.教科書（p195-202,206-212）,（p146-147）を読んでおく。 授業終了時に WebClass にて確認テスト実施予定	1 時間
5	栄養、排泄に問題をもつ子どもと家族の看護	講義	大城	1.教科書 3 章 2 を予習	1 時間
6	酸素化に問題をもつ子どもと家族の看護	講義	大城	1.教科書 3 章 2 を予習、2.教科書 2 章 6 を予習	1 時間
7	感覚、神経に問題をもつ子どもと家族の看護	講義	原	1.教科書（p202-204）,3.教科書（p374-410）を読んでおく。	1 時間
8	内分泌機能に問題をもつ子どもと家族の看護	講義	大城	1.教科書 3 章 3 を予習	1 時間
9	手術をうける子どもと家族の看護	講義	大西	1.教科書 3 章 6 を予習	1 時間
10	活動と休息に問題をもつ子どもの看護	講義	原	3.教科書（p412-430）,2.教科書（p30－51）を読んでおく	1 時間
11	移動・安全に問題をもつ子どもの看護	講義	原	1.教科書（p63-65,173）,2.教科書（p30－51）を読んでおく。	1 時間
12	プレバレーションによる適応行動の支援	講義	坂田	1.教科書 3 章 5 を予習	1 時間
13	健康障害をもつ子どもの家庭環境の変化と看護	講義 演習	大城	1.教科書 3 章 7、8 を予習	1 時間
14	救急時における子ども家族への看護	講義	大西	1.教科書 4 章 1 を予習、③8 章を予習	1 時間
15	災害を受けた子どもと家族の看護、まとめ	講義	大城	1.教科書 3 章 9 を予習	1 時間
成績評価方法・基準	定期試験 60% 小テスト 20% レポート課題 20%				
課題に対するフィードバック	課題レポートはコメントをつけて返却する。小テストは模範解答の解説を授業内で行う。				
教科書	1.中野綾美編集：ナースング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護 第 6 版、メディカ出版、2019。 2.中野綾美編集：ナースング・グラフィカ小児看護学②小児看護技術 第 4 版、メディカ出版、2019。 3.奈良間美保他：系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学 2 医学書院 2017。				
参考書・参考文献	浅野みどり 他編集：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図 医学書院 医学書院 2017。				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	ワイアワー 大城：金 12：10～13：10（L216 研究室）原：水 12：10～13：10（L632 研究室） 学習相談は適宜受け付けます。 メッセージ：小テストを数回行います。実施日はオリエンテーションで案内します。事前に学習をするよう心がけて下さい。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	老年看護学方法論Ⅰ	科目コード	BSNNCP213	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義・演習
責任者	中村 和代	担当者	中村 和代、 本田 歩美、 他		
授業の概要（授業の目的）					
加齢に伴う身体諸機能の変化と、高齢者に生じやすい症候や健康障害の発生機序について学ぶ。さらに、根拠のある看護援助や介護予防、指導教育を行うための基礎的能力を養う。また、高齢者の安全を脅かす諸問題やリスク回避について理解を深める。					
学修の到達目標				ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連	
1. 高齢者のアセスメントの視点を具体的に述べるができる				◎3. 看護実践知識 5. 問題解決判断力 8. 看護実践技術 9. 科学的根拠に基づく看護 11.多様な価値を尊重する姿勢	
2. 高齢者に起こりやすいコミュニケーション障害と看護について説明できる					
3. 転倒・骨折・廃用症候群のリスクが高い高齢者の看護について説明できる					
4. 高齢者疑似体験を通して生活動作への理解を深め、生活の援助方法が理解できる					
5. 睡眠障害のある高齢者の看護について説明できる					
6. 排泄障害のある高齢者の看護について説明できる					
7. 組織統合性障害のある高齢者の看護について説明できる					
8. 高齢者における食生活の意義/支援について説明できる					
9. 保健医療福祉関連施設に入所する高齢者および介護家族への看護について説明できる					
10. 高齢者のリスクマネジメント（医療事故および災害）について説明できる					
11. 高齢者をとりまく倫理的課題について考え、倫理的課題へのアプローチ法について説明できる					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	ガイダンス/高齢者のアセスメントの視点	講義	中村	ワークブック課題、①（第1,4章）,②（第3章）	1 時間
2	高齢者に起こりやすいコミュニケーション障害と看護	講義	中村	ワークブック課題、①（第5章F）	1 時間
3	転倒・骨折のリスクが高い高齢者の看護	講義	本田	ワークブック課題、①（第5章A）,②（第6章）	1 時間
4	廃用症候群のリスクが高い高齢者の看護	講義	本田	ワークブック課題、①（第5章A）,②（第6章）	1 時間
5	高齢者疑似体験 日常生活動作（屋内/屋外）	演習	本田	ワークブック該当箇所に目を通しておく	1 時間
6	疑似体験を通して日常生活支援/環境調整を考える	演習	本田	ワークブック該当箇所に目を通しておく	1 時間
7	排尿障害のある高齢者の看護	講義	中村	ワークブック課題、①（第5章C）	1 時間
8	排便障害のある高齢者の看護	講義	中村	ワークブック課題、①（第5章C）	1 時間
9	組織統合性障害のある高齢者の看護	講義	本田	ワークブック課題、①（第6章B）	1 時間
10	睡眠障害のある高齢者の看護	講義	本田	ワークブック課題、①（第5章E）	1 時間
11	高齢者をとりまく倫理的課題と尊厳を保持する看護	講義	中村	ワークブック課題、①（第2章C）,②（序章,終章）	1 時間
12	高齢者における食生活の意義/アセスメント・栄養評価	講義	中村	ワークブック課題、①（第5章B,）	1 時間
13	高齢者における食生活の支援/食事後のケア	講義	中村	ワークブック課題、①（第5章B,）	1 時間
14	保健医療福祉関連施設における高齢者の看護	講義	本田	ワークブック課題、①（第9章,B）	1 時間
15	高齢者と医療安全/高齢者と災害看護	講義	中村	ワークブック課題、①（第10章A,C,）	1 時間
成績評価方法・基準	定期試験：60％，課題学習（ワークブック・小テスト含む）：30％，受講態度・演習態度：10％ 合計 100％ 授業の出席確認は、毎回提出する出席シートを用いて行います。				
課題に対するフィードバック	ワークブックは採点后、返却します。中間、最終などにルーブリック自己評価をして頂きます。				
教科書	① 北川公子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 ② 鳥羽研二他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論」医学書院 ③ 山田律子他「生活機能からみた老年看護過程」第3版, 医学書院				
参考書・参考文献	・ 日本老年医学会編集 改訂版「健康長寿診療ハンドブック」2020.（2011 年版 インターネット公開） ・ 日本看護協会編「介護施設の看護実践ガイド」医学書院 ・ 箕岡真子・稲葉一人「わかりやすい倫理」ワールドプランニング				
オフィスワーク 学習相談 メッセージ その他	中村和代：オフィスアワー（月曜日 16:30-17:30, 6 号館 2 階 625 研究室、内線 217） 日常生活の中で高齢者に関心を寄せることから始めてみましょう。 ワークブックを予習・復習に活用し、主体的に学習を進めていきましょう。 ＊ ICT の活用：資料は適宜 WebClass で配布します。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	リハビリテーション看護学	科目コード	BSNNCP214	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、小浜さつき、吉村綾子、飛永浩一朗		
授業の概要（授業の目的）					
リハビリテーションとは、障害者が“地域で地域の人々の支援を受けながら誇りを持って生活できること”を目指す活動といえる。リハビリテーション看護の目標は、多職種と協働し障害のある人のセルフケアの再構築を促進することである。本講義では、主に、脳卒中の後遺症である運動機能障害、高次脳機能障害、嚥下障害を呈した患者に対する、専門的な評価や介入について学ぶ。また、障害のある人の環境への適応を促す看護について学ぶ。					
学修の到達目標		ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連			
1. リハビリテーションの意味、リハビリテーション看護の目標と看護師の役割を説明できる。		1. 生命の価値・人間の尊厳 3. 看護実践の知識 11. 多様な価値を尊重する姿勢			
2. 運動機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
3. 高次脳機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
4. 嚥下機能障害の評価と介入方法を説明できる。					
5. 障害のある人の環境への適応を促す看護について述べるができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	リハビリテーションの定義・目的	講義	日高	講義中に配布した資料を復習すること。	4 時間
2	定義に影響を与えた IL 運動とノーマライゼーションの思想	講義	日高	講義中に配布した資料を復習すること。	4 時間
3	映画に見るリハビリテーション①	講義	日高	レポート課題について、講義内でお知らせします。	4 時間
4	映画に見るリハビリテーション②	講義	日高		4 時間
5	リハビリテーション看護の目標と看護師の役割	講義	日高	講義内容を復習すること。	4 時間
6	セルフケアの再構築とロイ適応看護モデル	講義	日高	講義中に配布した資料を復習すること。	4 時間
7	運動機能障害のアセスメントと介入①	講義	飛永	運動機能障害のアセスメントと介入について、理学療法士による講義を行います。	4 時間
8	運動機能障害のアセスメントと介入②	実技			4 時間
9	運動機能障害のアセスメントと介入③	講義	小浜	教科書①5 章 2 節を事前に読んでおくこと。	4 時間
10	高次脳機能障害のアセスメントと介入①	講義	日高	教科書①5 章 2 節を事前に読んでおくこと。	4 時間
11	高次脳機能障害のアセスメントと介入②	講義	日高	教科書①5 章 2 節を事前に読んでおくこと。	4 時間
12	高次脳機能障害のアセスメントと介入③	講義	日高	教科書①5 章 2 節を事前に読んでおくこと。	4 時間
13	嚥下障害のアセスメントと介入	講義	小浜	講義中に配布した資料を復習すること。	4 時間
14	多職種協働による治療環境のデザイン	講義	日高	講義中に配布した資料を復習すること。	4 時間
15	在宅復帰に向けた多職種連携と地域リハビリテーション	講義	小浜 吉村 (CNS)		4 時間
成績評価方法・基準		定期試験 90%、レポート 10%			
課題に対するフィードバック		講義で提出されたレポートは、後日返却します。			
教科書		① 鈴木純恵他編集，成人看護学 健康危機状況/セルフケアの再獲得、ナーシング・グラフィカ、メディカ出版			
参考書・参考文献		・奥宮暁子監訳：リハビリテーション看護の実践、日本看護協会出版会、 八代英太編：ADA の衝撃、学苑社、1996。 ・石合純夫：高次脳機能障害学、医歯薬出版株式会社、2004。 上田敏：リハビリテーションを考える、青木出版、2000。 ・ノーマライゼーション-社会福祉サービスの本質、ヴォルフエンズベルガー著、学苑社、1982。 ・井林雪郎編集、脳卒中リハビリテーションとチーム医療・メディカルレビュー社。2012。			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		日高艶子（7 号館 3 階、731 研究室） オフィスアワー：金曜日 16：00－17：00 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	在宅看護学概論	科目コード	BSNANS201	開設期	2年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代、 橋口ちどり 他		
授業の概要（授業の目的）					
看護の対象となる在宅療養者と家族に対する理解を深め、在宅におけるその人らしさを支える看護とその技術を学ぶ。在宅看護の歴史から制度化と近年の動向と社会保障を学び、これから求められる在宅看護のあり方を探求する。また、在宅療養者の権利を理解し、自立を目指したケアの工夫を考える。さらに、在宅ホスピスケアを通して、在宅療養の意義を考察する。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
在宅看護、訪問看護の違いから、看護が提供される場と対象の特徴を説明できる。			◎3 看護実践知識 ◎4 論理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力 13 地域国際社会への貢献		
在宅療養者の権利保障と、その人らしい生活を支えるための支援技術を説明できる。					
在宅看護過程におけるアセスメントの視点から、生活の場における日常生活援助を考えることができる。					
在宅療養生活を支える社会保障制度の知識をもとに、地域包括ケアが推進される背景から今後の課題について自分の考えを述べることができる。					
在宅における看護ケア、ホスピスケアについて自分の考えを述べることができる。					
在宅療養者の多様な価値観を認め、支援者に求められる素養を身につける。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	在宅看護とは	講義	堤	教科書第 1 章、第 2 章を読んでおく	1 時間
2	在宅看護が必要とされる背景	講義	堤	教科書 P11～16 を読んでおく	1 時間
3	在宅療養者の権利保障	講義	堤	教科書 P120 ～131 を読んでおく	1 時間
4	在宅看護の支援技術①（その人らしい生活）	講義	堤	講義を復習し、レポート課題と照らして考察する	1 時間
5	在宅看護の支援技術②（ニーズとディマンズ）	講義	堤	講義を復習し、レポート課題と照らして考察する	2 時間
6	ケアマネジメントと社会資源	講義	堤	医療保険、公費負担医療を調べる課題プリント	1 時間
7	在宅ケアを支える社会資源①（高齢者のすまいと在宅サービス）	講義	堤	国民衛生の動向、介護保険制度を読んでおく	1 時間
8	在宅ケアを支える社会資源②（訪問看護制度）	講義	堤	教科書 P50～58 訪問看護制度を読んでおく	1 時間
9	訪問看護活動と訪問看護管理	講義	橋口	教科書 P191～262 を読んでおく	1 時間
10	在宅看護過程①（生活のアセスメント）	講義	堤	教科書第 5 章を読んでおく	1 時間
11	在宅看護過程②（病態のアセスメント）	講義	堤	教科書第 5 章を読んでおく	2 時間
12	在宅医療技術	講義	堤	教科書第 6 章を読んでおく	1 時間
13	在宅ホスピスケア	講義	堤	講義を復習し、レポート課題と照らして考察する	2 時間
14	在宅における看護ケア	講義	堤	講義を復習し、レポート課題と照らして考察する	1 時間
15	地域包括ケアシステムとこれからの在宅看護	講義	堤	講義を復習し、レポート課題と照らして考察する	1 時間
成績評価方法・基準		筆記試験、レポート、授業態度、課外の自己学修態度、社会的対応を含めた評価基準で行います。			
課題に対するフィードバック		講義で評価基準を配布します。筆記試験で問う知識だけではなく、思考、判断力を重視した評価をしますので、講義や課外活動からの学びは、webclass への投稿でアピールしてください。レポートは提示された評価基準を参考に作成して webclass で提出してください。中間指導を行いますので、教員からのコメントを「マイルポート」から確認し、レポートを修正して期限までに何回も提出できます。ポートフォリオで自分のレポートの成長過程を確認してください。筆記試験の正答と解説は、再試験終了後に webclass に掲示しますので、復習してください。			
教科書		秋山正子他：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 第 5 版 医学書院 2019 厚生統計協会：国民衛生の動向 2018/2019			
参考書・参考文献		日本訪問看護振興財団：訪問看護関連報酬・請求ガイド 2015 版			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		堤千代 オフィスアワー（火）12：10～13：10 2号館 220 室（内線 240） 講義内の質問、感想などは、webclass→地域看護学（2年生）→「在宅看護学概論 質問、感想はココ」に積極的に投稿してください。内容によって評価に加点します。 レポートの書き方の個別指導を希望する場合は、office365 のメールでアポイントをとってください。 tsutsumi@stmariacjp.onmicrosoft.com その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。			

開設科目名	公衆衛生看護学概論	科目コード	BSNANS202	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	2 単位 （必修）	時間数	30 時間	授業区分	講義
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子		
授業の概要（授業の目的）					
地域で生活する人々の健康を支援する看護活動として、公衆衛生看護の基本理念と活動の特性を学ぶ。また、地域の人々の健康を、ヘルスプロモーションを基軸に社会環境の変化、国際的活動と、包括的に捉える。さらに地域看護活動の場である、行政・施設、職域、学校、在宅看護との継続性、連動性を重視した地域看護活動の展開を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1．公衆衛生看護の定義及び理念について説明できる。			3 看護実践知識 ◎4 論理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力 13 地域国際社会への貢献		
2．公衆衛生看護の対象及び活動の場について説明できる。					
3．公衆衛生の歴史を学び、新たな地域看護活動や健康課題について述べることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生看護の定義や位置づけ、予防の概念、健康の概念	講義	眞崎	第 1 章公衆衛生看護学の概念を読んでおくこと。 講義終了時に指示する。	4 時間
2	公衆衛生看護活動の意義 健康の概念	講義	眞崎	講義終了時に指示する。	4 時間
3	公衆衛生看護の構成 ヘルスプロモーション	講義	眞崎	講義終了時に指示する。	4 時間
4	公衆衛生看護の歴史①公衆衛生看護の創成期 プチ演習 活動の始まりの頃を読んで	講義	眞崎	教科書：第 1 章公衆衛生看護の歴史を読んでおくこと。前回講義終了時に課題を提示する。	4 時間
5	公衆衛生看護活動の実際 演習（地区踏査）地区活動の基本である地区踏査を行い、発表する。	講義 フィールドワーク	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
6	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果発表	講義 GW	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
7	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果発表準備	講義 討論	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
8	公衆衛生看護の実際 地区踏査結果発表	講義 討議	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
9	公衆衛生看護の実際①行政	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
10	公衆衛生看護の実際②（産業・学校）	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
11	地域の人々の保健関連行動① （健康課題への個人の対処行動）	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
12	地域の人々の保健関連行動② （健康課題への地域組織としての対処）ソーシャルキャピタル	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
13	社会活動の変化と健康課題①（社会情勢の変遷）	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
14	保健行動とヘルスリテラシー 社会活動の変化と健康課題②（国際交流、国際協力）	講義	眞崎	公衆衛生看護の課題と展望に係わる文献や情報などを入手し次回講義時までに読み、2 つ以上キーワードをあげておく。各講義終了時に指示する。	4 時間
15	公衆衛生看護の課題と展望	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
成績評価方法・基準	定期試験 70%、演習課題地区踏査結果（個人ワーク、グループワークプレゼンテーション結果）30%				
課題に対するフィードバック	課題レポートは、プレゼン発表時にコメントし、課題についてはコメントをつけて返却する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j P：インターメディカル ・国民衛生の動向 2018/2019：厚生統計協会 ・公衆衛生看護学演習・実習：クオリティケア				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧：日本看護協会出版会				
ワイアワー 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子（7 号館 2 階 722 研究室） 火曜日 12：10～13：10、その他在室時 公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や地域活動に関心をもって演習で地域を体験してください。 ＊ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	公衆衛生看護管理論Ⅰ	科目コード	BSNANS203	開設期	2年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義、演習
責任者	眞崎直子	担当者	眞崎直子、堤 千代、洪江 暁春、野上 裕子		
授業の概要（授業の目的）					
地域で生活する個人、家族および集団の特性をふまえて、地域看護活動の展開方法について教授する。特に地域の健康問題の把握や地域診断に基づく地域活動の展開過程の理論と方法を学ぶ。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. 公衆衛生看護活動を行うために必要となる、地区診断の意義と目的を説明できる。			3 看護実践知識 4 論理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力 ◎8 看護実践技術 ◎9 科学的根拠に基づく看護		
2. 公衆衛生看護活動から健康問題を抽出し、顕在的・潜在的なニーズを把握する方法を述べるこ とができる。					
3. 地区踏査および地域の既存資料による情報収集と分析ができる。					
4. 地域の健康課題が、優先順位として抽出することができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生看護管理の特色 公衆衛生看護活動計画の意義と目的、地域診断の概念	講義	眞崎	教科書の地域診断を読んでおくこと。 各講義終了時に指示する。	4 時間
2	域診断に必要な理論 地域診断の過程、地域集団特性の把握、	講義	眞崎	各講義終了時に指示する。	4 時間
3	地域診断の方法① 地域診断の資料の分析、統計指標作成演習	講義 演習	眞崎	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修	4 時間
4	地域診断の方法② 地域の健康課題を明らかにする方法、課題明確化の演習	講義 演習	眞崎	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4 時間
5	地域診断のプロセス 健康課題の分析・抽出、地域の健康課題を解決する方法	講義 演習	眞崎	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4 時間
6	地域診断の実践① 対象地域における診断	演習 GW	眞崎 全員	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4 時間
7	地区診断の実践② グループでの発表	演習 討議	眞崎 全員	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4 時間
8	公衆衛生看護活動計画の総括 公衆衛生看護管理における今後の課題	講義 討議	眞崎 全員	各課題テーマに沿った自己学修とグループ学修 各講義終了時に指示する。	4 時間
成績評価方法・基準	地区診断のグループ発表 質疑応答 30%、個人課題 30% 定期試験（中間・期末試験）40%				
課題に対するフィードバック	地域診断の個人課題、グループ発表 フィードバック：発表後に説明する。課題についてはコメントをつけて返却する。 定期試験（中間・期末試験）フィードバック：出題意図を説明する。				
教科書	・公衆衛生看護学 j P：インターメディカル ・国民衛生の動向 2018/2019：厚生統計協会 ・公衆衛生看護学演習・実習：クオリティケア				
参考書・参考文献	・保健師業務要覧				
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他	眞崎直子 オフィスアワー：火曜日 12：10～13：10、その他在室時 公衆衛生看護学領域の基礎となる科目です。保健師や地域活動に関心をもって演習で地域を体験してください。 ＊ICT の活用：演習後は WebClass で理解度の確認テストを受けることができます。解説を確認し、復習に活用してください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です。				

開設科目名	集団・組織援助論Ⅰ	科目コード	BSNANS204	開設期	2年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代、渋江暁春、野上裕子		
授業の概要（授業の目的）					
グループで健康教育指導案を作成し、住民対象を仮定したプレゼンテーションを行う。その演習を通して、地域住民が主体的に健康問題の解決や予防的対処ができるための、集団に対する支援技術を学ぶ。グループの行動理論を基軸に、健康教育に用いる基礎理論と実践技術を理解し、特に指導内容の科学的根拠を求める専門職の姿勢を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
全国的な健康課題による行政施策に基づく、地域で展開される健康教育について述べることができる。			3 看護実践知識 ◎4 倫理的・科学的問題発見力 ◎5 問題解決判断力 8 看護実践技術 ◎9 科学的根拠に基づく看護 13 地域国際社会への貢献		
与えられた健康教育のテーマの指導案作成を通し、生活指導法の根拠を調べることができる。					
対象者の特性に配慮した効果的なプレゼンテーションが実践できる。					
健康学習とグループダイナミックスの概念が説明できる。					
保健行動理論を生かした保健指導を説明できる。					
全国的な健康課題による行政施策に基づく、地域で展開される健康教育について述べることができる。					
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	健康教育とは	講義	堤	教科書 P196～207 を読んでおく	1 時間
2	健康教育の実際① 指導案の作成	講義・演習	堤・渋江・野上	課題テーマに沿った自己学修とグループ学修	5 時間
3	健康教育の実際② 指導案の作成演習	演習	堤・渋江・野上	課題テーマに沿った自己学修とグループ学修	5 時間
4	健康教育の実際③ 媒体の作成	講義・演習	堤・渋江・野上	課題テーマに沿った自己学修とグループ学修	5 時間
5	健康教育の実際④ 媒体の作成演習	演習	堤・渋江・野上	課題テーマに沿った自己学修とグループ学修	5 時間
6	健康教育の実際⑤ 発表	演習	堤・渋江・野上	課題テーマに沿った自己学修とグループ学修	5 時間
7	効果的なプレゼンテーション	講義	渋江	教科書 P203～205 を読んでおく	1 時間
8	保健行動理論	演習	堤	教科書 P83～93、P158～161 を読んでおく	1 時間
成績評価方法・基準	筆記試験 50%、演習 50%（学生評価と成果物評価） 筆記試験の記述問題は講義内に提示し、講義内容を理解し応用的な思考ができるかを評価します。				
課題に対するフィードバック	筆記試験のうち、知識を問う選択式の問題は、再試験終了後に解答と解説を webclass で提示しますので、各自復習してください。				
教科書	荒賀直子他：第 4 版 公衆衛生看護学.jp インターメディカル 2017				
参考書・参考文献	中村正和：健康のための行動変容 法研 2001 曽根智史：健康行動と健康教育 医学書院 2006 松本千明：健康行動理論の基礎 医歯薬出版 2002				
オフィスワー 学習相談 メッセージ その他	堤 千代 オフィスアワー（火）12：10～13：10 2 号館 220 室（内線 240） tsutsumi@stmariacjp.onmicrosoft.com 演習内の質問は、webclass→地域看護学（3 年生）→ 集団組織援助論Ⅰ 掲示板で解決してください。 グループダイナミックスを体感する演習が中心の授業です。グループに貢献する姿勢で臨んでください。 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です				

開設科目名	国際保健論	科目コード	BSNANS205	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環、城石幸博		
授業の概要（授業の目的）					
世界の人々の健康と、それを取り巻く保健医療状況を概観し、歴史的な流れ（その国・地域の縦の流れ）と、現時点での世界の国・地域とのつながり（横の流れ）が人々の健康に影響を与えていることを学ぶ。そのうえで、健康や命、人間の尊厳とは何かを考える。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、国際保健の歴史を説明できる			◎ 4 論理的・科学的・問題発見力		
2、世界の健康問題とその変遷を理解できる			5 問題解決判断力		
3、現在の世界の保健医療問題を知り、日本の現状と比較できる			11 多様な価値を尊重する姿勢		
4、国際協力と国際医療協力について説明できる			12 他職種協調リーダーシップ		
5、国際医療協力における日本の立場、役割を理解する			◎ 13 地域・国際社会への貢献		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国際保健とは	講義	秦野	・日本国際保健医療学会学生部会のホームページを訪問し、「国際保健」とはどのようなものかを読んでおく ・復習 2 時間	4 時間
2	人々の健康にかかわる国際機関	講義	秦野	・教科書 p66-98 を読んでおく 復習 2 時間	4 時間
3	世界の健康問題（非感染性疾患を中心に）	講義	秦野	・日本でみられる生活習慣病について調べる ・復習 2 時間	4 時間
4	世界の健康問題（結核、マラリア、エイズなどの感染症を中心に）	講義	秦野	・細菌・ウイルス学を振り返り、細菌とは、ウイルスとは、寄生虫とは、を復習しておく 復習 2 時間	4 時間
5	開発途上国、中進国の保健医療の状況 （JICA 研修生の出身国の保健医療の状況から学ぶ）	講義	秦野	・開発途上国とは、どのような国々があるのか調べておく ・JICA 研修生の出身国について調べること （第 1 回で出身国をお知らせします） ・復習 2 時間	4 時間
6	世界の健康問題（世界のエイズ問題と対策、栄養問題、人畜共通感染症、など）	講義	城石	・世界のエイズの状況を調べておく ・人畜共通感染症はどういうものか調べておく	2 時間
7	持続可能な開発目標、世界が人々の健康向上のために目指しているもの、など	講義	城石	第 2 回で学修した国連機関の中で、特に、「世界保健機関」「国連開発計画」について復習しておく	4 時間
8	国際保健医療協力の現状と課題 日本の国際保健医療協力について	講義	城石	JICA（国際協力機構）について調べておく	4 時間
成績評価方法・基準		期末試験 70% 事前学習や課題レポート 30%			
課題に対するフィードバック		フィードバックは毎回の講義で行う			
教科書		田村やよい編：新体系 看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学 メジカルフレンド社 2017			
参考書・参考文献		特になし			
ワイズアー 学習相談 メッセージ その他		秦野環 研究室 2 号館一階、214 研究室 火曜日、12 時 10 分～13 時 10 分、 その他は事前にメールで連絡ください（office 365） その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			

開設科目名	国際看護論 I	科目コード	BSNANS206	開設期	2 年後期
単位数（履修区分）	1 単位（必修）	時間数	15 時間	授業区分	講義
責任者	秦野環	担当者	秦野環		
授業の概要（授業の目的）					
国際看護を担う一員になる存在であることを自覚する。 グローバル化が進んだ現代社会において、看護の対象である個々の人間を尊重しながら、適切な看護を展開する基礎的能力を養う。 世界の健康問題を概観したうえで、社会的・文化的・宗教的に配慮した看護を展開する基礎的能力を養う。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1、国際保健論で学修した日本や諸外国における健康問題を振り返り、看護を必要とされている現状を理解できる			3 看護実践知識		
2、健康問題をおこす政治的・経済的・社会的・文化的要因があることを説明できる			4 論理的・科学的・問題発見力		
3、様々な健康問題が、国や地域を超えて人々に影響を与えていることを理解できる			5 問題解決判断力		
4、国際看護を考えるために、既に学修した他の科目を統合させ、活用することができる。			◎ 11 多様な価値を尊重する姿勢		
5、文化的・社会的背景を考慮した看護を考えることができる			12 他職種協調リーダーシップ		
6、興味ある国の健康問題を調べ、実践可能な看護について考える			◎ 13 地域・国際社会への貢献		
授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	国際看護とは	講義	秦野	・国際保健論の授業内容を振り返っておく ・自身の居住地の在留外国人の数を調べておく ・教科書 p2-8 を読んでおく	2 時間
2	グローバル社会に求められる看護	講義	秦野	・グローバル社会とはどういうことかと調べておく ・教科書 p36-47 を読んでおく	4 時間
3	在留外国人の健康問題と看護	講義	秦野	・教科書 p48-62、p206-214 を読んでおく ・外国人が日本で生活するに当たり困難になるであろう事項を考えてくる。	4 時間
4	世界の母子保健の現状と必要な看護	講義	秦野	・世界子供白書 2018（手に入らなければ 2017）で、世界で妊産婦死亡率が高いトップ 10 の国を調べる	4 時間
5	世界の保健医療の現状と課題、必要な看護を考える	講義	秦野	・JICA 研修生の出身国における医療の課題から看護を考えてみる	4 時間
6	文化や慣習が健康に及ぼす影響を考える	講義	秦野	・人々の健康に影響を与えている慣習を調べる	4 時間
7	人々の行動変容を起こさせる困難さを考える	講義	秦野	・女性性器切除とは何かを調べる	4 時間
8	国際看護活動	講義	秦野	・国際協力にどのような看護活動があるのかを調べる ・教科書 p186-214 を読んでおく	4 時間
成績評価方法・基準		期末試験 70%、 事前学習・課題レポート 30%			
課題に対するフィードバック		課題に対するフィードバックは授業ごとに授業中に行う			
教科書		田村やよひ編：新体系 看護学全書 看護の統合と実践③ 国際看護学 メジカルフレンド社 2017			
参考書・参考文献		特になし			
オフィスアワー 学習相談 メッセージ その他		秦野環 オフィスアワー 火曜日、12 時 10 分～13 時 10 分、 学習相談：メールでご連絡ください、アポイントメントをとっていただき対応したいと思います 国際看護活動は、私を生き活きとさせてくれます。皆さんにも体験していただきたいと思います その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です			